

「三条教則」關係資料（十八）

本号は

○『山房夜話』瑕丘宗興（明治七年十二月）  
の一点を収める。

『山房夜話』 瑕丘宗興（明治七年十二月）

本書は版本、上下二冊（二巻）、上巻三十二丁、下巻四十一丁で計七十三丁、和装袋糸綴である。表紙題簽に「瑕丘宗興演説 京極龍道筆記 山房夜話 全二」とあり、表紙見返しに「官許 中講義 瑕丘宗興演説 門人 京極龍道筆記 教説山房夜話 全二冊 明治七年十二月発兌 五車堂蔵」とある。巻頭に著述者瑕丘宗興自身の「題辭」（一丁）を掲げ、次いで本文（上巻は第一・第二・第三・第四の三十一丁、下巻は第五・第六・第七・第八・第九の四十一丁）が続き、巻末に「官許 明治七年九月 同年十二月刻成 弘通書肆 東京日本橋川瀬石町村上勘兵衛出店 大坂心齋橋南久宝寺町前川善兵衛 尾張名古屋本町十一丁目栗田東平 越前福井本町酒井安兵衛 丹後宮津万町二丁目南波庄兵衛 但馬豊岡宵田町由利安助 京都花屋町西洞院西入永田調兵衛 同御幸町姉小路上ル藤井孫兵衛 同寺町四条上ル田中治兵衛 湖南大津丸屋町沢宗次郎」とある。

著述者の瑕丘宗興は、文化十二年（一八一五）の生れ、在家の出身ではあるが近江国即往寺の住職となり、のち勲学位を贈られている。明治十三年（一八八〇）没。寿六十六歳であった。姓は瑕丘、字は玄風・遊識・閑雲・返照道僧の一人である。したがって、著作も数多く、次に示すとおり、宗乗関係や三条教則関係書を中心に、没後の出版も含めて約二十種近く存する。『無何里問対』二巻（慶応三年刊）・『上宮太子慈視録』（同三年刊）・『大蔵輔国集』三巻（明治二年刊）・『山房夜話』二巻（同七年刊）・『二十八題弁略』二巻（同七年刊）・『三条叢説』四巻（同八年刊）・『十六題大旨』（同八年刊）・『通八題窺班』（同八年刊）・『真宗別八題窺班』（十六題窺班）（同八年刊）・『四題帷策』（同九年刊）・『科文傍註略述法相義』三巻（同十年刊）・『曼強録』（同十四年刊）・『歩船鈔講義』二巻（同十五

年刊)・『真宗大意衍義』(同四十二年刊)・『學論』(刊年不明)・『進道初門』(刊年不明)・『成唯識論講録』(刊年不明)・『訂正神道五部書』三卷(刊年不明)。

内容は、著述者の説教演説、門人の筆記とあること、本文冒頭に「神官僧侶ヲ見立テ、其レノ教導職ヲ命ジテ説教仰付ラル、ニ就キ、不肖ナル拙老モ其一分ニ与カリタルコト故、早ク説教ノ標札デモ掛ケ、……斯ク夜話ノ法座ヲ設ケタルニ」と瑕丘自身が述べ、下巻末尾に「右ハ、吾師瑕丘老人、檀越有縁ノ人々へ説教セラレタル趣キ、其聞クマ、ニ筆受シ畢」と筆記者の門人が記していることから、本書は九回にわたる瑕丘宗興の三条教則についての教導説教であることがわかる。したがって、その口調もいわゆる話し口調で臨場感あふれる様子が見えがえる。と同時に、仏典等多くの引用にとどまらず、例話などを上手に挿入しながら展開している点などから、神官とは比較にならないほど巧みであり、また僧侶のなかでも説教上手の真宗僧の典型と言ってもよいほどであつて、江戸時代の心学者がもつとも得意とした心学道話と酷似した語り口調は、心学の影響を充分に受けていると思わせるぐらいで、その巧みなた術は秀逸であると言つてよい。もつとも、その理論的根柢であり柱となっているものが真宗得意の論法である真俗二諦論の教理であることは他の真宗系の衍義書とさほど変わらず、決して珍らしいものではないが、大経や無量寿経、勝鬘経や法華経等の仏典から、大学や論語などの儒教の典籍まで数多く盛り込んで五善五惡、五痛五燒などの浄土教系の教義から六波羅蜜など一般的な教義まで、仏教用語を例話実歴談を通して世俗の倫理に適用させ、かつ分量がかなり多い点が、本書の特徴と言えるかもしれない。また、敬神条項については、氏神参りや伊勢参宮などの次元で把握するなど、あくまでも日常生活上の問題で理解すべきとの態度も含めて、本書の意図は、仏教一辺倒で終始するのではなく、仏教教理をもつて三条教則に会通えいどうさせようとした点にあり、それが無理なく素直に自然におこなわれたように見受けられるのである。その意味で、本書は「会通」型の三条教則衍義書と評してもよいと思う。この点からすると、本書はすでに一度活字化(『明治仏教思想資料集』第三卷に所収)され、その解題において、「教導職に達せ

られた教則三条を中心にして仏教的なことを織り込みながら、成立間もない天皇制国家への門徒民衆の積極的従属を、きわめて平易に説いたものである。」また「天皇崇拜と神社信仰とを中核とする天皇制国家のイデオロギーの基本をなすものであった。」と、きわめて偏狭かつ独善的な評をしているが、このような見方こそ片頗で今日では最早まったく通用しない論理であつて、決して賛同し得ないものである。著述者の言を素直に読み、聞くことこそ肝要だと思料する。

ちなみに、近代における真宗倫理の教学的根拠と方向性を明示したとされる有名な真俗二諦論の教義も、宗乗学の視点で仔細に見てゆくと、決して一枚岩の教義ではなく、そのなかでも諸説あつて、「真俗一諦説」「真俗並行説」「真俗関連説」「真諦影響説」「俗諦方便説」の五種類のヴァリエーションがあり、それぞれのなかに、また一ないし二の異見が存するのであるが、本書の著述者瑕丘宗興の立場は、「真俗関連説」のなかの「相資相依説」に属すると言われているようである。そして、同じ立場の人に井上円了（一八五八—一九一六）、新しいところでは梅原真隆（一八八五—一九六六）などが知られている。なお、名の読み方については、一般に「瑕丘」カキユウ宗興とするも、徳重浅吉はこれを「瑕丘」キヌカと読んでいる。

尚、仔細に点検すると、以前に翻刻された『明治仏教思想資料集成』所収本（所蔵元が明記されていない）と龍谷大学所蔵本（版本）は、語句や文字の点で異同が数カ所看取される。よつて、あらためて翻刻した次第である。

本書収載に際しては、龍谷大学図書館所蔵本に依つた。（三宅）

## 凡 例

凡例については、前号にしたがつた。

『山房夜話』 瑕丘宗興 (明治七年十二月)

題辭

二氣五行天道之常。生々化々為露為霜。三条六事皇成之綱。蕩々平々興神興皇。成事為泉說教開場。口如鋸屑弁擬玉章。黃料斯的垂諸書緗。天下後世必哈吾狂。但吾所冀仁王法王。真俗二諦山高水長。

明治七年十月

瑕丘宗興撰并書

教説山房夜話卷上

中講義 瑕丘宗興 演説  
門人 京極龍道 筆記

其一

今般東京ニ於、教部省ト云御役所ヲ設ケ玉ヒテ、天下中ノ教導ノ御取締リヲナサル、ニ付テ、神官僧侶ヲ見立テ、其レノ教導職ヲ命ジテ説教仰付ラル、ニ就キ、不肖ナ

ル拙老モ其一分ニ与カリタルコト故、早ク説教ノ標札デモ掛ケ、別ニ席ヲ開テ其事ヲ行フベキ筋合デモアレドモ、先潜カニ近ク三五人ノ為ニ一往其御趣意ノ程ヲ伝ヘント、斯ク夜話ノ法座ヲ設ケタルニ、何レヨリ聞伝ヘラレタカカヨウニ蜂ヤ蝶ノ花ノ香ヲ恋フガ如クニ參集セラレタルハ、誠ニ希有ナル因縁ヂヤ。李太白ガ春夜宴桃李園序ニモ、古人秉燭夜遊良有以哉ト書置レタガ、各其身ノ上ヲ調ベテミレバ、浮生ハ夢ノ如シト云テ、五十年七十年ト云モ夢ノ間ニタチテ仕舞フ。其中ニモ昼ハ尤其レノノ家業ガ大切ナレバ、万事ノ務メニ忙シフシテ、心静カニ法縁ニ逢フコトモ難ケレバ、斯ル夜分ノ法座ニ於、春宵一尅直千金ト云タ心地ニ成テ、心肝ニ入レテヨク聽聞セラル、ガヨイ。赤ノ宵カラムダノ寐ルコトヲ思ヘバ、カヨウナ法縁ニ遇フテ大利益ヲウルコトハ、意外ノモウケ物ヂヤ程ニ、ヨク目ヲ覺シテハツキリト聽カレマセウ。

扱、説教ト云コトハ即チ唱導ノコトデ、高僧伝杯ニハ唱導ノ一科ガ有ル。其レヲ是マデハ、我が真宗デハ法談勸化杯ト云ヒ、余宗ニテハ説法談義勸誡杯ト云タコトヂヤ

ガ、夫レヲ今ハ一同ニ皆説教ト唱ヘヨトノ御定メヂヤ。  
其説教ト云コトハ、基本トハ、蓮師ノ御文ニハ、諸宗ノ  
コ、ロマチノニシテ、何レモ釈迦一代ノ説教ナレバ、  
如説ニ修行セバ其益アルベシト有レバ、釈迦如来一代五  
十年ノ御説法ヲバ惣テ説教ト云フ。浄土正依ノ大經ニハ  
演説經法宣布道教。抔トアル意デハ、教ハ教法ノコトニテ、  
仏祖ヨリシテ我々如キニ至マデ、都テ仏々相伝ノ教法ヲ  
説ノベルヲバ説教ト云。

扱、其仏ノ教法ハ本ヨリ真俗二諦、世間出世ノ法ヲバ具  
足シタル教ヘナレバ、仏教ヲ具サニ説述レバ、今生後生  
ノ教ヘガ皆ソロフ故、法華經ニハ現世安穩後生善所ト説  
キ、勝鬘經ニハ此世及後生願仏常撰受トアル。曇鸞大師  
ノ讚弥陀偈ヤ善導大師ノ往生礼讚抔ニハ、此勝鬘夫人ノ  
語ヲ毎々用ヒテ置セラル、コトヂヤ。依テ僧侶ハ僧侶相  
応ノ仏教ヲ味能説述レバ、自然ニ今日ノ朝廷王法ノ御趣  
意ガ人々ヘ行届イテ御政治ノ裨益ニナル。其レヲタゞ仏  
法ハ出世間ノ法テ世間ノ事ニハ間ニ合ハズ、後生ノ道バ  
カリヲ教ヘテ此世ノ事ハカマハヌト云ヨウニ意得ルハ、  
仏祖ノ思召ニ叶ハヌ。ソコデ、此度官ヨリ三ヶ条ヲ御

出シナサレテ、仏法ノ教ヘヲバ、此三条ノ趣キニ符合セ  
ル様ニトクベシト御心添ヘ在ラセラレタノガ、今日ノ説  
教ノ起リヂヤ。爾ルヲ僧分ガ仏法ヲ捨テ、朝廷ヘ雇ハレ  
テ王法ヲ説述ルコトノ様ニ思フハ、大キナ取違ヘノ咄シ  
ヂヤ。

扱又、大經ノ終リ、流通分ト云処ニハ、如是作如是説。如  
是教トアル。此意ニヨレバ、教ハ教訓教諭抔云フ義ニシ  
テ、説教ト云ハ、トキヲシエルトヨム意ニナル。ソコデ、  
此大經ノ文意ヲ知り易ク申サバ、經文ト云モノハ、凡ソ  
序正流通ノ三分ト云ガ有テ、序分ト云ハ、其經ヲ説カセ  
ラル、起リヲ初メニ記シタ処ヂヤ。正宗分ト云ハ、正シ  
ク其經ヲ説カセラレタ光景ヲ申タ処ヂヤ。流通分ト云ハ、  
其説カセラレタ經文ノ如クニ伝ヘ弘メル模様ヲ明シタ処  
ヂヤ。ソコデ、今此流通ノ処ニ、前ノ序文ト正宗分トノ  
事柄ヲ承テ、如是作如是説如是教ト結ビタマ  
イタ者ヂヤ。先如是作ト云ハ、カクノ如ク作シ玉フト云  
コトデ、此レハ序文ノ景色ヲ云タノヂヤ。其ワケハ、序  
文ノ經文ニ光顔巍々諸根悦予等ト有テ、釈迦如来モ出世  
本懐ノ經ヲ説コフト思シ召スニ付テ、何カ御心嬉シク思

召サル、氣味合ガ、御顔ツキ、御カラダノ上へ頭レタ其御喜ビノカタチヲ御身ニ作シ示サセラレタノ故ニ、ソコデ、如<sup>ク</sup>是<sup>レ</sup>作<sup>ス</sup>ト云クノヂヤ。次ニ如是説如是教ト云ハ、コ、ガ正宗分ト云テ、一会ノ説法ノオモタル処デ、正シク口業ニ説<sup>ス</sup>述<sup>ス</sup>テ教ヘサセラル、処ヂヤ。コ、ガ説教ノ二字ヂヤ其中如是説ト云ハ、弥陀如来ノ因位ノ御修行ヨリ、終ニ正覚成就シテ極樂浄土モ結構ニ出来、衆生ノ浄土参リノ法立<sup>テ</sup>モ仕上リテ、十方ヨリ其レノ二往生スル聖衆方ノ事マデヲ、其俣皆説述サセラレタヲ如是説ト云。

扱、カヨウニ極樂参リノ一段ハ、何モカモ出来上リタコトナレバ、今日ノ衆生ハ実ニ居膳<sup>ニ</sup>出合フタヤウナ者ヂヤ。爾ルニ、邪見自力ノ人ハ其参ラル、極樂へ足踏<sup>ガ</sup>出<sup>テ</sup>来ヌヤラ、折角足ブミシテモ真実報土ノ景色ガ拝マレヌヤラト云フ所ヲ御歎息ナサレテ、易往而無人ト仰ラレタ。先其邪見ノ人々ニ、五悪ヲ誡メ五善ヲ勸メサセラル、ニ付テ、初メニ然世人薄俗共争不急之事等ト説セラレテ、世間ノ人々、タゞ目ノ前ノ私欲ニ迷テ、人道サエモ失フテ、生キテ居ル間ニハ王法ノ御咎メニ逢ヒ、命終レバ三惡道ニ陥ルコトハ、居エ膳ヲ食ハズニ、ヒモジイ目ヲス

ルクライノ事デハナヒ。誠ニツマラヌ天上デハ無イカト云ワケ柄ヲクドキタテ、五悪五善ノ勸誡ヲ垂レ玉ヒ、夫ヨリ又、折角浄土マデ足ブミシナガラ、自力疑惑ノ罪ニ由テ、真実ノ三宝ニ逢フコトノ出来ヌハ口惜イコトデハナイカト云テ、明信仏智ヲ勸メサセラル。箇様ニ苦<sup>シ</sup>ロニ教ヘ諭サセラル、処ヲバ、如是教ト仰セラル、ノヂヤ。ソコデ説<sup>ス</sup>ト教<sup>ス</sup>トノ二ツガ大經正宗分ノ肝要ヂヤ。釈迦如来五十年ノ説教ハ、何レモ皆此筋合ナレドモ、別シテ御懇<sup>ニ</sup>ゴロナル説教ハ、此無量寿經ニ過タルハ無イ。ソコデ、皇国ニテハ、昔シ<sup>三十</sup>舒明天皇ノ御時、御所ノ内ニテ仏教ノ講釈ヲ仰付ラレタ一番初リガ此無量寿經ヂヤ。ソクナラ、今日僧侶ニ説教仰付ラレタモ新規ナ訳デハナヒ、先皇様ヨリノ御規則通りヂヤ。ソコデ僧分ノ説教ノ仕ヨウモ、本師釈迦仏ノ御指南ノ通り、仏ノ大法ヲ説述テ、其仏法ノ上ヨリ第一ニ先此世ノ人道ヲヨク守リ、終ニ後生モ目出度ク度世上天ノ安樂ヲ得ルヨウニト教ヘネバナラヌ。先ヅ墨画ヲ書テ、其レカラ夫レヲ彩色スルニハ、其画ノ具ヲ水デ解テ塗リテハ、塗ル下カラハゲル。ソコデ、其レヲ膠<sup>ニカワ</sup>デ解テ画ドルトキニハ、イツマデモ



ハゲ又者ヂヤ。御互ニ先此世へ生レ出タノハ、墨画ヲ書  
タヨウナ者ヂヤ。ソコノ処へ天理人道ヲ弁ヘテ、ヨク五  
倫ノ道ヲ行ヒ、御国ヲ大切ト思ヒ、御国ヲ開カセラレタ  
神様ヲ敬ヒ、御国ノ御主タル天子様ヲ戴キ上げ、仰出サ  
ル、御趣意ヲ守リ奉ルハ、見ゴトニ彩色ヲスルヨウナ者  
ヂヤ。爾レドモ凡情ト云者ハ、水ニ画クガ如クトモ有テ、  
兎角変リ易イ者、又生レツキトシテ、悪ルヒ我執ト云者  
ガ有テ、兎角我身ノ勝手ガシタイ者ヂヤ故、四角四面ニ  
道ヲ守ルト云コトハ、イツノ間ニヤラ類ル、者ヂヤ。ソ  
コデ己ガ機ニ入ラヌコトデモ、官カラ御触示シヂヤ故、  
イヤナガラモ守ラニヤナラヌト云程ノ一通リノコトデハ、  
水バカリデ解タ画具見ルヤウナ者デ、ツキハゲル。夫故  
ニ仏教ノ善悪因果ノ膠ヲ以、心ヲシツカリト固メネバナ  
ラス。其善悪ノ業道ハ、秤リノ如シト云テ、正直ナ者デ、  
善デモ悪デモ一タビ造レバ、直様己ガ第八識ノタマシイ  
ニ薰習トコベリツイテ、イツマデタチテモモウ消ヘヌゾ  
ヤ。是ヲ業種子ト云。此業種ノタネカラ、善果惡果ガハ  
エ出シテ、惡業カラハ三惡道ノ苦シキカラダガ出来、善  
業カラハ人天ノカラダヤ、仏菩薩ノ安樂カラダガ出来ル

ノヂヤ。ソウシテ見リヤ、業道ト云ハ怖ロシフモアリ、  
亦タノモシフモアラフガノウ。世上ノ事ハ、人前ヲ程ヨ  
ク作レバ、悪ヒコトデモ善ヒヤウニ見セラルレドモ、業  
道バカリハソソナ手爪ハ出来ヌ、正直ナ者ヂヤ。此筋合  
ヲ心底ニヲサメ込テ見レバ、ホンノ責塞ゲノ事シテハ置  
レマイガ。ソコデ忠信ノ誠ヨリ人道ヲ行ヒ、神ヲ敬ヒ国  
ヲ愛シ、皇上ヲ戴キ上テ、仰出サセラレル御趣意ヲ、一  
期ヲ限り守リ申スベクト、イツマデ立テモカハラヌノガ、  
仏法ノ膠デ王法ノ御趣意ヲ彩色スルノヂヤ。是ヲウツク  
シク領解シタル人ト云。ソコデ後生大事ノ筋合ヲ懇ゴロ  
ニ説テ、其レデ今生ノ行ヒヲ味ヨク致スヤウニ教ルノガ、  
説教ト云名ノツク所詮ヂヤ。説教ノ筋合ガソウシタ者ナ  
レバ、説教ヲ聞ク人モ、地獄極樂ノ苦樂ノ程ヲ能腹ヘ入  
テ、此世ノ善悪ノ行ヒヲ大切ニ心掛ネバナラス。地獄ガ  
コワヒ極樂ガ有ガタヒト云コトハ、誰モヨク知テ居ルコ  
トヂヤガ、其地獄ヨリマダコワヒ者ガ有リ、極樂ヨリモ  
マダ有ガタヒ者ガ有ルト云コトヲ一ツ思テ見ルガヨイ。  
此世デ作ル惡業ガ、死ニ往クサキノ地獄ノタネ、ソソナ  
ラ、此世ノ惡業ハ、地獄ヨリモ怖ロシヒデハナイカ。此

世ノ善業成就スレバ、極楽參リハ自然之所牽、ソシテ、平生業成ハ、大事ノ中ノ大事ヂヤゾヤ。コワイコトモ有難ヒコトモ、命ヲワリテカラ騒イデモ仕方ハ無イデ。マメデ居ル今日ヲ大事ニ思テ、勸善懲惡ノ教ヘヲ守リ、現世安穩、後生善所ノ身ノ上ト成ラル、ノガ肝要也。追々夜モ深ケルコトナレバ、先今夕ハ此レマデ。

其二

扱、先仏教ノ大体ヲ申サバ、仏一代ノ説教ハ真俗二諦ノ外ハ無イ。何レノ宗旨ニ於モ、コレヲ用ヒヌ家ハ御座ラズ。其真俗二諦ト云名ハ、ドウシタコトゾト云ヘバ、真諦俗諦ト云ニツヲ一所ニ唱ヘテ真俗二諦ト云ノヂヤ。諦ハ審也実也ト註シテ、真ニシテ慥ナコトヂヤト云意ヂヤ。先真諦ト云ハ、真ハ真実ノ義デ、其本性ノ俛ニシテ、カザリヲ付又処、其レガ其通り違ヒ無イ、慥ナコトヂヤト云コトヲ真諦ト云。俗諦ト云ハ、俗ハ顕現ノ義ト云テ、其本性ノ上ヘ飾ノ現ハレタ処デ、此レモ亦其レガ其通り違ヒ無イ、慥ナコトヂヤト云コトヲ俗諦ト云。譬ヘバ人ト云者ハ、彼毛ヲ被タリ、羽ヲ着タリ、甲ヲ着

タリシテ居ル禽獸杯トハ違ヲテ、全ノ裸虫ヂヤト云ノガ、トント生レツキノ質ノ真実ニシテ、少モ違ヒノ無イ処ヂヤ。ソコヘ人タル者ハ丸裸デハ居ラレヌ故、其レノ二着物ヲ衣セタリ、冠リヲカブセタリシテ、粧ヒカザルノガ、人道相應ノ当リ前ナコトヂヤト云様ナ道理ガ二諦ノ訳柄ヂヤ。

扱、其二諦ト云ハ、ドンナ処デ立ツ者ゾト云ヘバ、有ト所有ル一切諸法ガ此二諦ヨリ外ハ無イ。先真如無為ト云ガ一切法ノ本性ト云テ、少モカザリヲ付ケヌ有リノ俛ノ真理ノ処ヂヤ。是ヲ第一義諦トモ勝義諦トモ真諦トモ云。其真理ノ上ヘニ、縁起有為ノ諸法ト云テ、善縁惡縁、アノ縁コノ縁、イロノ縁ガ寄り合テ、仏モ衆生モ出来人ヤ世界ヤ何ヤカヤガ現ハレ出ル処ヲ、俗諦ト云。其又俗諦ノ中デ真俗二諦ガ分レテ、其レノ因縁ガ寄り合タ処デ、人ニモセヨ、犬猫ニモセヨ、山川屋宅等ニモセヨ、其レノ名ノ付ク形チガ出来、現ハレル処ヲ俗諦ト云。左様ニ衆縁寄合テ其レノ種々ノ形チガ現ハレ出テモ、何レモ皆本トガ寄合モノ故、其レヲ一々細カニシラベテミレバ、其名ノ如クノ孤露トシタ実体ハ無イ。ソ

コヲ空無自性ト云。コ、ガ真諦ト云者ヂヤワイノフ。譬  
ヘバ一軒ノ家ト云名ヤ形チガ現ハレテ有レドモ、其家ヲ  
バー々細カニ吟味シテ見レバ、是ハ棟木、是ハ柱、是ハ  
壁土、是ハ瓦ト云ヤウニ、其レ々取分ケテ見レバ、此  
外ニ別ニ是ガ家ヂヤト云家ノ実体ハ無イ。サウシテ見リ  
ヤ、家ヂヤ家ヂヤト云タリ、ナガメタリシテハ居レドモ、  
眞実ノ処ハ実体ノ無イ空ナ者ヂヤト云ノガ、有リノマ、  
ノムキ出シノ処ヂヤ。此筋合ノ処ヲ真諦ト云。此外、土  
瓶ヤ茶碗ノ様ナ者ニモセヨ、一切其レ々名ヤ形チノ有  
モノ、皆此通りデ、山ノ土ヤ細工人ノ手ヤ、細工スル道  
具ヤ色々ノ縁ガ寄集リテ、土瓶ヂヤノ茶碗ヂヤノト云名  
ノ附形チノ有ル者ガ現レタノヂヤ。サシ当リテ、今御  
互ニ人ノ生ヲ受テ居ルヂヤガ、人ノ身ノ上モ右申ス通り  
ノ筋合デ、天地ノ陰陽ノ氣ヤ、父母ノ交合ノ事ヤ、彼レ  
此レ一所ニ成タ処ヘ、前世ノ業ニ引レテ靈魂ガ其中ヘ這  
入タ処デ、人ノ躰ト云者ガ出来ル。其躰ハ地水火風ノ  
四大、色香味触ノ四塵ト云ガ寄集リテ、躰ノ肉ヤ血ノ  
通フヤ、燻カミノ有ルヤ、手足ノ動クヤト云働ガス  
ル。又魂ノ心ト云ハ、阿頼耶識ト云者ガ土台ヂヤガ、其

レヲ惣テ申セバ、八識心王五十一ノ心所ト云テ、物ヲ見  
タリ聞タリ、此レハ是レ、アレハアレト云ヤウニ弁ヘ知  
ル働ヲスル者デ、箇様ニ心ト躰トヲ一所ニシタ処ヲ  
約メテ云ヘバ、色受想行識ノ五蘊ト云。其五蘊和合ノ処  
デ人ト云名ヤ形チガ現ハレ出ル。ナンボ空無自性ノ寄合  
者デモ、一塊リニ塊リタ処デハ、歴然タル一箇ノ人ト  
云ハネバ成ス、ソコノ処ヲ俗諦ト云。ソコデ俗諦ノ方デ  
ハ、五倫五常ノ道ヲ立ネバ成ヌ。ナゼト云ニ、五倫ト云  
ハ、人ト云名ヤ形チニ附タ者ヂヤ。人ト云名ヤ形チガ有  
故、親ガ有リ、子ガ有リ、君ガ有リ、臣ガ有リ、夫ガ有  
リ、妻ガ有リ、兄ガ有リ、弟ガ有リ、連レ友ダチガ有ル。  
ソシナラ人ト云名ヤ形チノ有ル間ハ、五倫ノ人道ハ守ラ  
ネバナルマイガ、コ、ノ処ガ丸ノ裸ニ十二一重デハナイ  
ガ、五倫ノ五重ハ衣セネバナラヌゾヤ。人ツキ合ヲス  
ルトキニハ、マルノ裸デハ出ラレマイガノフ。  
扱又、此人体ヲバ真諦ノ方カラナガメル日ニハ、五蘊仮  
合ノヨリ合モノ、空無自性ノ真裸ヂヤ。風呂ヘ入ラフト  
云トキハ、ドンナ人デモ真裸ヂヤ、着物ヲ衣テハ這入ラ  
レヌ。人間ノ一生涯ハ五倫ノ着物ハ脱ガレヌガ、命ノ終

ル日ニナレバ親子モ夫婦モ一所ニハ往<sup>ユク</sup>レヌ、皆フリステ、出カケニヤナラヌ。此場ニナレバ貴賤男女ノ差別ハ無イ。イカナル人モ空無自性ノ真裸ヂヤ。着物粧<sup>ヨウ</sup>フテ居ルトキハ何モ分ラヌガ、裸ニシテ見ルト、サア、隠サレヌゾヤ。ア、搗<sup>ソキ</sup>タテノ餅見ルヤフナ奇麗ナカラダヂヤト云モ有ラフシ、又ハ、アノ人ハエライ出臍<sup>ベツ</sup>ヂヤノ、脇ノ下ニ大キナアザガ有ヂヤノト云ヤフナコトモ有ル者ヂヤ。

サテ各、平生ガ大事ヂヤゾヤ。カラダガ本ヨリ空無自性ナ者故ニ、其言フコト、為<sup>ナ</sup>スコトモ、亦皆縁起有為ノ空無自性ヂヤ故、善業ノ縁ガ寄集レバ、後生楽果ノヨキカラダガ出来、悪業ノ縁ガ寄集レバ、未来苦報ノ悪キカラダガ出来ルゾヤ。此善惡ノ二業ハ秤<sup>ハカリ</sup>ノ如ク正直デ、ウブムキ出シノ真実、ツ、ミカクシノナラヌコトヂヤ。折角風呂ヘ這入タノニ、コリヤ熱フテタマラヌ、煎殺サル、様ナノ、是ハ一向ヌルフテ直ニ風ヒキソウナノト云テ、サア早フ水ヲ呉レ、サア急ニタイテ呉レト、ヤカマシフ云テモ、ソコラニ誰モ居ヌト云ヤフナコトモ有ル。平生ニ悪業ヲタント積寄セテ置ケバ、其往クサキノ所ハ、

恰<sup>チヤ</sup>ド斯<sup>ス</sup>ヨウナ光景<sup>アウサマ</sup>デ、自然ノ三途無量ノ苦惱アリ。八寒八熱ノセメ苦ヲ受テモ、誰レ訪フ者モ無イヤウデハ、悔復何及ト云テ、何程悔テモ間ニ合ハヌ。爾ル所ガ、善業ヲ積集メテ平生ニ心懸タル人ハ、恰<sup>チヤ</sup>ドヨイ加減ノ湯ニ入テ快イ処ヘ、マダ傍<sup>ハセ</sup>カラ、タキマセフカノ、水アゲマセフカノ、御肩ナガシマセフカノト、イロ／＼ニ世話セラレテ、ユル／＼ト暖<sup>アツク</sup>マリテ、清浄ナ身ニナル様ナ心地デ、快樂無極ノ永生ノ楽果、度世上天泥洹之道ト云ハ此コトヂヤワイノフ。箇様ナ筋合ノ処ヲ真諦ノ教ヘト云。

此筋合ヲ各篤<sup>トク</sup>ト腹ヘ入レテ、扱、其上ハ風呂カラ出タレバ、イツマデモ裸デ涼ンデモ居ラレヌ故、チント着物ヲ衣テ、其レ／＼ノ當ミヲナス様ナ道理デ、ナンボ板合ノ無自性ナ者デモ、ソレガ集リテ一箇<sup>カヅネ</sup>ノ形ヲナシタル上ハ、形チ相応ナ道ヲ守ラニヤナラヌ。隣リノ家モ板ヤ柱ノ寄合モノ、我家モ亦板ヤ柱ノ寄合モノ、同ジヨリ合者ナレドモ、ドチラモチント立上ゲテ棟分ケテ見レバ、隣リハ隣リ、我家ハ我家ト差別シテ、破レタ処ハ修覆ヲシ、不都合ナ処ハ造作シカヘル様ニセニヤナラヌ。今モ其レト同ジ様ニ、五蘊ノ法ガ寄合テ一人／＼ノ躰<sup>カラダ</sup>ト成テ、

君臣、父子、夫婦、兄弟、朋友ト一人ノ二棟ハ分ツテ有ル様ナ訳ユヘ、親ハ親ノ分ガ有リ、子ハ子ノ分ガアリ、君臣、夫婦、朋友ノ中、其レノ二皆其分ヲ守テ、我身ノ二不都合ナコトガ有レバ、コレヲ改メ修覆シテ、五倫ノ道ヲ闕サヌヤウ、朝廷ノ王法、県庁ノ御布令ノ如ク、大切ニ致スノガ、是ガ俗諦ノ教ヲヨク守ルト申モノ。真諦ノ教ヲ心ノ底ニオサメ込テ、俗諦ノ教ヲ身ノ上ニ行フ所ガ肝要チヤ。是ヲ般若心経ニハ、色即是空、空即是色ト説セラレ、中觀論ニハ是ヲ空假中ノ三諦トシテ示サセラレタガ、皆コノ道理チヤ。ソシテ、後生願ヒザヤトテ、俗諦世間ノ事ハドウデモヨイト等閑ニ致スコトハナラヌゾ。又、法義ニ心ノ薄ヒ人デモ、真諦出世ノ教ハコチヤ嫌ヒザヤノト云テ、ノケ物ニシテハ置レヌゾヤ。ソコデ、人ノ一生涯ハ、戦々兢兢トシテ、深淵ニ臨ムガ如ク、薄氷ヲフムガゴトク、大切ナ病人ヲ看病スルヤフナ心地ニナリテ、マダ息ハシテアレドモ、何時カシレヌト大事ニ思ヒ、何時カシレヌト思フ中ニ、千ニ一ツモト、医者サワギヤスルノガ人心ノ誠チヤ。大事ナ親ヤ可愛我子ノ大病ニハ、コレ程ノ尽力ハ何レニテモ致ス事チヤガ、

我身ノ世話ノコ、マデ行届ク人ハスクナイ者チヤ。蓮師ハ、抑人間界ノ老少不定ノコトヲ思フニツケテモ、イカナルヤマヒヲウケテカ死センヤ、カ、ル世ノ中ノ風情ナレバ、イカニモ一日モ片時モイソギテ、今度ノ往生極樂ヲ一定シテ、其ノチ人間ノアリサマニマカセテ世ヲスゴスベキコト肝要ナリト、ミナノコ、ロウベシト示サセラレタ。此レガ我身ヲ懷抱スルノ第一チヤ。ソコデ、有ル中ニモ無キ思ヒヲナシ、無キ中ニモ有ル思ヒヲナシテ、真俗ニ諦相離レズ、非空非有ノ中道ト云処ガ、仏教ノ土台トコ、口得テ、ドチラヘモカタヨラズ、程ヨク一生ヲ過シテ、後生善所ト樂シムノガ何ヨリノ肝要。

### 其三

各方、毎夜ヨク奇特ニ參集致サレマス。扱、真俗ニ諦ノワケヲバ昨夜、話シニ及ンダガ、今夕ハ其俗諦世間門ニ就テ、今般仰出サレタル三ヶ条ノ御趣意ヲ申ベテ聞カセマセフ。其三ヶ条ト云ハ、一ニハ敬神愛國ト云テ、先神様ハ此皇國ヲ開カセラレタル御先祖デ、而モ古シエヨリ今日ニ至マデ、鎮護國家ト云テ、御國ノ内、上カラ下マ

デヲシツメマモリテ下サル、。其御恩ノ程ヲ念ジ上テ敬  
ヒ崇メ、ソウシテ其神様ノ御國ノ内ニ生ヲ受タル我々ナ  
レバ、其御国大事ト思フ心ガ無フテハスマヌ。ソコデ、  
古人ノ言ニモ、國ヲ愛スルコト家ヲ愛スルガ如クト云テ  
アル。家ト云ニモ段々大小ガ有テ、我々が二人ヤ三人住  
ム一棟ノ家モ家也。又富貴ノ人デハ、別荘ヂヤノ、出店  
ヂヤノト云テ、所々方々ニ幾棟モヒカエテ居テモ、其レ  
モ一ト連レノ家ヂヤ。天子様ハ万民ノ父母トナラセラレ  
テ、天下中ヲバ統御メテ一軒ノ家トシ玉フノヂヤ。ソコ  
デ、天子様ハ、別段ニ御住居遊バス九重ノ深宮ハ有ラセ  
ラレテモ、天下中ヲバカケ持ノ一連レノ家トナサル、ノ  
ヂヤ。ソクナラ、我々が別持チノ家ハ小家、天下ノ国土  
ハ大家ト云者ヂヤナイカ。其天下ノ大家ノ中ニ、我々ハ  
小家ヲ建テ住テ居ルノナレバ、我々が我が家ノト云テ  
居ルノハ、畢竟大廈ノ中ノ一トシキリノ己ノ居間ヲ見  
ルヤフナ訳ヂヤ。己ノ居間サへ善ケリヤ、大廈ハ焼ケ  
テモ潰レテモ、ソクナコトハ知ラヌト云テハ居ラレマイ。  
大廈ガ焼ケタリ潰レタリシテ、ドウシテ居間ガ満足デ在  
ラレウゾ。箇様ナ訳故ニ、我身ヲ愛シテ我が屋宅カカ

我が家内眷属マデヲ愛念スルヤフニ、国家大事ト愛重セ  
ネバナラヌ。國ヲ大事ト愛スルノガ余所ノコトカト云へ  
バ、其レガ直ニ我が身ノ上ヲ大事ニ愛スルノヂヤ。我身  
ガ朝夕寢興ヲスル家カ、我が身ガ生涯住居ヲスル國カ、  
ドチラヘシテモ我身ニ掛タ大切ナ事ヂヤモノ、是ヲ大  
事ニセイデナラフカ。是ガ先愛國セネバナラヌ訳ガラノ  
一ツ。

扱又、此国土ハ、我々が父母ト成テ下サル、天子様ノ領  
シサセラレテ、旦暮ニ御心配遊バサレル処ヂヤ。我々が  
纔カナ一軒ノ家デモ、其持主ノ亭主ノ心ニ成テハ、盜  
ノ来ヌヤフ、火事杯ノ出来ヌヤウ、又無頼ナ子共ガ出  
来テ家ヲ荒シ、家内一同難渋ニ及ビ、先祖代々ヘモ申シ  
訳ノ無ヤウニ成テハナラヌト、実ニ腫レ物ニサワルヤフ  
ニ大事ニ思フコトヂヤガ、マシテ況ヤ、天下國家ヲ家ト  
シ玉ヘル皇上様ニハ、イカ計リカ御劬勞有ラセラル、デ  
有ラフト、御恐察申上ネバ濟マイガ、敵国外患ト云テ、  
人ノ國ヲ奪ヒ取ラフトスルヤフナ者ガ、古シエヨリイツ  
モ有コト、又洪水旱暵ト云テ、久霖デ大水ガ出タリ、長  
日デリデ作り物ガ枯タリ、或ハ臣下万民ノ中ニ土寇ヲ起

シタリ、謀反ヲタクンダリスル様ナ者ガ出来、種々サマ／＼ノ事デ兆民ガ皆塗炭ノ場ニ至ラフカ、其様ニ成テハ先祖ノ太神ヨリ就而治焉ト授ケサセラレタ御趣意ガコロリト潰ル、ガト御苦慮アラセラル、訳柄ナレバ、其皇上ノ御手元ヲ察シ上テハ、面々ニ我身／＼ヲ顧ミテ、御国敗リノ悪人ト成テハナラヌト、勸善懲惡ノ教ヲ守リ、各自ノ職業ヲ励ミ勤メテ富国強兵ノ備ヘヲ為シ、マサカ水旱ノ患ハ有テモ、此レデメツタニ難義ハセヌ。ヒヨツト外カラ悪イ敵ガ入込デモ、何デモ此レデ防ガフト、日頃ニ心ガケルノガ、眞実忠義ノ愛國ト云モノヂヤ。箇様ニ我身ノ治リノ為ニモ、又君様ヘ忠義ノ為ニモ、国ヲ愛スルト云コトヲ忘レテハナラヌ。如是ヨク国ヲ愛スルノガ、直ニ正直至誠ノ天理ニカナフタ人道ト云モノヂヤ。此人道ガヨク立切レバ、ソコガ即神ノ御本意ヂヤニヨツテ、神ヲ敬フト云コトモコ、デ立ノヂヤ。

箇様ナ御リニハ、其レ相当ナ敬ヒモ致スデアラフケレドモ、其外ハ万事ナリヤイニシテ、人道ノ義理モカ、シ、自分ノ職業モ游惰ノ様デハ、畢竟正直ニ明カナル所ノ神様ヲウツケニ致スノヂヤ。ソコデ、タトイ廉々ノ敬ヒハ相当ニ致シテモ、日頃ガ日頃ヂヤ故ニ、眞実ノ敬ヒニハナラヌ。其訳ハト云ヘバ、譬ヘバ一ノ翁アリ。コ、ハ、辺土ヂヤ故ニ、学校ヘモ遠ケレバ、幼少ナル子共ニハ、暫クハ家デ手習ヲサセヨウト、近所ノ子共マデヲツレニシテ、二三人ヨセテ机ヲナラベ、筆ヤ墨マデ調ヘ、手本ヲ書テ与ヘ、手マデ持テ教ヘル。ソウシテ、サア、習ヘヨト云テ其場ヲノケバ、マタト再ビ手本モナガメズ、其場ニスワリテ居リモセズ、角力ヲトリタリ、芝居ノマネシタリ、其レア足ライデ外ヘ出テ、犬追カケタリ、隣リノ柿ヲチギリタリト云ヤフナワンパク計リ。本ヨリ日頃ソソナワンパク計リデ居タ故、少シ其レヲ静メヨウトテ、机ヲ買タリ、硯箱ヲ買タリシテ、折角手習ノ場ヲコシラヘテモ、ヤハリ同ジワンパク事。朝其場ヘスハリタ時、一度墨ヲスリカケタガ、イツノ間ニヤラハヤ余事。追付昼チヤガ精出シテ書カヌカト訶ラレテ、一寸墨ヲス

リカケタガ、其レモ亦其レナリト云ヤフナガ、幼キ児ノ  
手習ヂヤ。折角親ガ机場ヲコシラエタ、所詮ハサツバリ  
無イ。シカシナガラ、是ハ何ノ分別モ無イ子共ノ事ヂ  
ヤデ仕ヤウモ無イガ、サア、各ヤ我々ハ、今日真更ヲサ  
ナキ子共デモ無イコトヂヤデ、チツトハ思案ヲセニヤ  
ナラヌゾ。先神様ガ最初国土ヲ開カセラレタノハ、親ガ  
ワザ／＼机場ヲコシラヘテ与ヘタヤフナ者ヂヤ。我々ニ  
悪業造レ、放逸セヨトテ開カセラレタ御国デハ無イゾ。  
天上ノ世界ヤ、遠ヒ他方ノ仏国ニハ、マダ因縁ノ熟セヌ  
者ヲ、此御国ニ生ヲ受サセテ、何トゾ程ヨク人道ヲ渡リ  
テ、其レ／＼ノ幸福ヲ得サセフ為ニ、衣ルタネヤ、食フ  
タネヲ神々寄りテソレ／＼ニ取ソロヘテ、サア、家業家  
職ニ骨折テ、其レ相應ニ福ヲ出セト勸メサセラレ、天  
祖天孫ノ間ニ於忠孝仁義ノ手本ヲ書テ、三綱五常ノ道ヲ  
習ヘト教ヘサセラレ、道ニ叶ハズ、不法ナルワンパクス  
レバ怖イコトゾト、冊尊ヤ素尊ノ根ノ国、底ノ国ヲ示サ  
セラレ、箇様ニ勸善懲惡ノ筋合ニ、手ヲトラマヘテ教ヘ  
ルヤフニシテ有ルノニ、其御国ノ真中デ、私欲我情ノワ  
ンパク計リデ、忠孝仁義ノ道ハ習ハズ、取ニゲ欠落ノ業

シタリ、親類隣家ト諍ヲシタリ、游惰醉狂デ我家ヲ破  
ルヤウナコトシテ、其レデ御国ヲ大事ニスルト云ハレヨ  
ウカ。其レデ開國ナサレタ神様ノ御心ニ叶フト云ハレヨ  
ウカ。コ、ヲヨク／＼合点シテ、背長ノビタル身ノ上ヤ、  
老リ仲間ノ面々ハ、ヲサナヒ子共ノ手習デハスマヌコ  
トゾト意得テ、正直二人道ヲ修メテ神ノ御本意ニ叶ヒ、  
殊ニ當時ハ万国交際ノコトナレバ、外国カラナガメテ、  
貧乏国ヂヤノ、シミタレ国ヂヤノト云ハレテハナラヌト  
心ガケ、国土ノ十分富榮ヘテ、国ノ光リノ耀クヤウニト  
励ミ勤ルノガ、神ヲ敬シテ国ヲ愛スト云モノヂヤゾヤ。  
別シテ後生ヲ願フ身ハ、コトサラ国土ヲ思ハニヤナラヌ。  
向ニ申タル所ハ云マデモナク、其上ニ其願ヒ求ル仏法ハ  
ドコデ聞ゾ、仏法修行ハドコデスルゾ。古シエヨリノ説  
ニ、神道ハ根本、儒道ハ枝葉、仏道ハ果実ト云テアルガ、  
遠イ支那ヤ天竺ノ法ヲバ、神様ノ思召ニテ此御国ヘ取寄  
セテ、御国ノ莊嚴ニナサル、ノヂヤト云フ。ソコデ、御  
国ヘ生レ出タ者ハ、遠イ所ノ法マデガ居然トシテ聞カ  
ル、ノヂヤ。皮ヤブルレバ毛安クンカツカント云コトガ  
有ガ、其レト同コトニテ、国ガ亡ビテハ仏法モヨリツキ



場ガ無イ。蓮如上人ノ御時代ニ、国ガ騒動シテ困リデ有  
タコトヲバ、諸国往来ノ通路モタヤスカラザル時分ナレ  
バ、仏法世法ニツケテモ千万迷惑ノ折フシ也。コレニヨ  
テ、靈仏靈社參詣ノ諸人モナシト歎カセラレタ。ソウシ  
テ見レバ、法ヲキク身ノ上ハ、御国ハ益々大切ニシテ  
置ネバナラヌ。ソウシテ又、我身ニ聞テ信ジタ上ハ、コ  
レヲ弘メテ人ヲ化度スルノガ仏恩ノ報謝ヂヤ。他力真宗  
ノ修行ハ、此仏恩報謝ノ務メヨリ外ハ無イ。ソコデ、和  
讃ニ、他力ノ信ヲ得ン人ハ、仏恩報ゼン為ニトテ、如来  
二種ノ回向ヲ、十方ニヒトシク弘ムベシ、トアル。然ル  
ニ乱暴ノ国デハ、其信ズルコトモ行ズルコトモ出来ニク  
イ故、祖師ノ御消息ニモ、念仏シテ国治マレカシ、仏法  
ヒロマレカシト祈ルノハヨキコトヂヤ、ト仰ラレタ。ソ  
ンナラ、念仏ヲ信ジ行ズル身ノ上ハ、御国ハ大事ニセニ  
ヤナラヌ。御国ノ御恩ハ広大ナゾヤ。大論ノ中ニ説セラ  
ル、因縁ニモ、昔シ大キナ山林ノ焼ケルトキ一箇ノ雉ア  
リ。アワタシク溪ソコヘ身ヲ沈メ、ワヅカナカラダ両  
翼ニ水ヲ含メテ起挙リ、モエタツ焰ヲニ灌ギカケ、復溪  
底ヘ飛下リテ身ヲ濡シテハトビ上リ、モユル大火ニソ、

ギカケスルノヲ、傍二人アリ。是ヲ見テ、ナントア  
ノヤウナ大火ニ、聊カナル水ヲ運デカケタトテ、何ノ益  
ニモナラヌコトヲ、ト云タレバ、其トキ雉ノ云ヤウニハ、  
ナル程何ノ役ニハタ、ネドモ、我身ヲ始メ、我ガ親モ我  
子モ我ガ友連レモ、皆此山林デ育タ者故、此山林ニハ  
深ヒ御恩ガ有カラニ、セメテハ些ノ御報謝ニ山靈ヘ御  
身方申スノデ有ル、ト答ヘタト云コトガ有ル。サア各、  
コ、ノ処ヂヤワイノフ、各ヤ我々ガ、サシテ甲斐ナキ身  
ノ上デ、広イ世界ニ向テ御国大事ト思タトテ、何ノ所益  
モナキヤウナレド、我身ヲ初メ、親モ子モ、家内眷屬モ  
ロトモニ、此世ノ御養ヒハ申スニ及バズ、未来後生ノ事  
マデヲ信行サセテ戴イタ御国ノ御恩広大ナレバ、平生無  
事ナ其時ニ、御国ニ何事無イヤウニト大切ニ存ジ、家業  
家職ニ骨折テ富国強兵ノ基イラ成シ、マサカノ事ノ有タ  
トキ、身命サヘモ惜マヌモノ、マシテ況ヤ財宝ヲヤト、  
ハリコム心ニナルナラバ、是ガ即国家ノ忠義、取リモナ  
ラサズ敬神愛國ノ當ミヂヤゾヤ。

其四

朝廷ニ於、教部省ト云御役所ヲ立サセラレタ御本意ハ、  
滿天下ノ民ヲ教ヘテ、何トゾヨキ人ニ仕立上テ、ソツニ國土ヲ  
莊嚴セント思召ル、有ガタキ御趣意ヂヤ故ニ、仰出サ  
レタル三条六事ガ、皆各自身上ノ徳ヲ成就スル御仕方ヲ  
示サセラレタノヂヤ。漢ノ高祖モ、法ヲ三章ニ約メラレ  
タト有レドモ、其レハタゞ、禁制法度ノ科条ヂヤガ、今  
ハ其レトハ違フゾヤ。智仁勇ノ三八天下ノ達徳ナリト申  
庸ニ云テ有ルガ、只今ノ三条ガ恰オホコト其三徳ニ当リテ有ル。  
皇國ノ三種ノ神器ト云宝モノガ、即其智仁勇ノ三徳ヂヤ  
ガ、今コノ真中マナカノ第二条ハ其智徳ヂヤ故ニ、明カニスベ  
キ事ト有ルゾヤ。物ゴトノ是非ヲハツキリト、ヨク知り  
分ケルノガ智ト云者デ、鏡ノ明カナヤウナ者ヂヤ。ソウ  
シテ又、右手ノ第一条ノ敬ト愛トハ、仁ノ徳デ、玉ノヌ  
ンメリトシタヤウナ者ヂヤ。左手ノ第三条ノ戴クト守ル  
トハ、勇ノ徳デ、劍ノタケクイサマシキ気味合ヂヤ。爾  
レバ、今此三条ハ、天下ノ達徳ヲ示サセラレル者ナレバ、  
イカナル人モ皆ヨク戴イテ、我身ノ徳トイタサネバ  
ナラヌ。ソコデ、此三条ノ御趣意ヲ聞開テヨク行フコト  
ニナレバ、其レガ即三種神器ノ徳ヲ戴キタル真実ノ

ヤマトマシ  
日本靈ト云者ヂヤ。

扱又、今ノ三徳ヲバ、モウ一重ツゞメテ云ヘバ、知ト行  
トノ二ツヂヤ。智徳ハ物ノ道理ヲ心ニヨク意得ルコト、  
仁ト勇トノ二徳ハ、其心ニヨク知り得タ上ヨリ、其身ニ  
程ヨク行フコトヂヤ。ソコデ、知〔智〕仁勇ノ三ヲツゞ  
メテ云ヘバ、唯知行ノ二ツト云モノヂヤ。此知行ノ二ハ、  
譬バ目ヲ明テ歩行ヤウナ者ヂヤ。何モカハリタコトデハ  
無イ。若目ヲフサイデ盲ヲ歩行ヲセヨウナラバ、ドンナ  
コハイ処ヘハマラフヤラ知レヌゾヤ。ソコデ、菩薩ノ六  
度ノ修行デモ、初ノ布施持戒忍辱精進禪定ノ五波羅密  
〔蜜〕ハ行デ、コレハ步行クヤウナ者。第六ノ般若波羅  
密〔蜜〕ハ是ハ智デ、其行ク道筋ヲヨク見分ルヤウナ者  
ヂヤ。論語ニモ六言六蔽ト云コトガ有ルガ、六言ト云ハ、  
仁義ノ道ヲ行フコトヂヤシ、六蔽ト云ハ、其仁義ノ道ヲ  
盲フルキラ歩フルキヲスルヤウデハツマラヌコトゾト誠メルノヂヤ。  
何レノ道ニ於モ此知行ノ二ツガソロハネバ、真マコトトノ務メ  
ニハナラヌゾヤ。ソコデ、知ルコトノ難キニハ非ズ、行  
フコトノ難キナリトモ云テ有ル。ドレ程目ハヨク見ヘテ  
モ、イザリデハ行クベキ処ヘハ行カレヌヤウナ者デ、物

ノ筋合ダケハヨク承知シテ居ルモノ知リデモ、其レハ論語ヨミノ論語シラズ杯云テ、本真ノ道ヲ行ハヌイザリ学者ヂヤワイノフ。ソコデ、經文ニハコレヲ聞不具足ト誠メ、御文ニハ、ワレ心得貌ノ風情ハ、第一ニ懦弱ノ心ニ非ズヤ杯ト訶責シテ有ル。又縦イ気マメニヨク行フテモ、若、マコトノ道ヲ知ラズニ行ヘバ、盲ラ歩行ノ道理ヂヤ故ニ、折角結構ナ念仏ヲ稱ヘテサエモ、真実報土ノ往生ハ叶ハヌコト故、コレヲ蓮師ハ、口ニタゞ稱名バカリヲ稱ヘタラバ極楽ニ往生スベキヤウニ思ヘリ、ソレハ大キニオボツカナキ次第ナリト歎息ナサレタ。箇様ナ道理ヂヤ故ニ、各其身躰ハ折角六根具足ノリ、シキ人デモ、其心ヤ行ヒガ間違ヘバ、片輪者ト云ハレニヤナラヌ。残念ナコトデハ無イカ。ソレ故、儒者ノ王陽明ハ知行合一ノ説ヲ立ラレタモ尤ナコトヂヤ。仏法修行ノ身ニ取テハ、惣テ不行而行ノ義ヲヨク意得、殊ニ他力真宗ニハ深く信ジテ称ルガメデタキコトニテ候也トアルハ、ヨク目ヲ明イテアルケト仰セラル、訳ヂヤゾヤ。

扱、今此三ヶ条ノ次第モ、三種ノ神宝ヲ蔽リ玉ヘルガ如ク、真中ハ明カナル鏡ノ様ニ、天理人道ノ筋合ヲハツキ

リトシ、右ト左リハ玉ト劍トノ様ニ柔カニモアリ、剛モアリ、剛柔相因テ我身ノ美德ヲ成シ、文事ニハ武備アリ、武事ニハ文備有ト云心バエニテ、万事ヨク行届クコトニナレバ、是ガ明德ヲ明ラカニシタ驗シヂヤ。サレバ、三条ノ御趣意ヲヨク々々躰認スレバ、取りモナヲサズ三種神宝ノ御徳ニ身ヲマルメ、知〔智〕仁勇ノ三徳ヲ我身ニ具足サセテ戴クノヂヤゾヤ。何トヲノ々有ガタイコトデハ無イカ。後生菩提ノ道ニ就テハ、他力回向ノ心行ヲ得レバ、願力成就ノ南無阿弥陀仏ニ身ヲマルメ、万善万行ヲ我身ニ具足シ、浄土ノ聖衆ノ仲間ニ入り、光明摂取ノ内住居。現世人倫ノ道ニ於ハ、神德皇恩ニ身ヲマルメテ三徳具足ノ良民トナリ、神明鎮護ノ御国ニ住ミテ、皇上撫育ノ戸籍ニツラナルト云フコトハ、実ニ人界受生ノ大慶デ有ラフガノフ。

扱、天理人道ヲ明カニスト云ハ、明カト云フハ、先ゾ明了ノ義トスレバ、智慧ヲ以我身ニ其是非ヲ知り分ルコトデ、鏡ノヨク物ノ白イ黒イヲ分チ、又目ヲ開テ、ハツキリトヨク物ヲ見ル様ナ氣味ヂヤ。物ノ筋合ヲ一向コ、ロエヌヲバ愚痴トモ無明トモ云フ。ソコデ、物ノ道理ヲ聞

タリ学ンダリスレバ、其暗キ愚痴無明ノ心ガ開ケテアカルウナルヲバ智慧ト云フ。天理ト云ガ何ヤラ、人道ト云ガ何ヤラ、一向知り分ネバ、其思フコトモナスコトモ、皆筋違ヒノコトバカリニテ、形チハ人デアリナガラモ、狗猫トモ同ジ様ニナル故ニ、人タル者ハ天理人道ノ筋合ヲ聞タリ、学ンダリセネバナラヌ。ソコデ、当今ノ御仁政、文部省チヤノ教部省チヤノト云御役所ヲ建サセラレテ、所々ノ学校ヤ数多ノ教導職ヤラ設ケテ、人々ニ聞セタリ、学バセタリ、遊バサレルノハ、皆此明了ナル智慧ヲ開カセウ為ノ有ガタキ思召チヤゾヤ。此智慧ト云者ハ誠ニ大切ナル者デ、此智慧ガ広大ニ開ケレバ、凡夫人デ有乍超工昇<sup>ノボリ</sup>テ仏ケニモ成レルゾヤ。智慧ノ魂<sup>カクマ</sup>リガ仏ケジヤ。若又、此智慧ガ一向隠レテ現ハレヌ時ハ、折角人デ有乍モ、落下リテ禽獸トモ同ジ様ニナル。ソコデ、蠢爾タル蛮荊ト賤メテ有ル。何ト智慧ノ明ルノ有ルト無イトハ、途方モナイ違ヒデハ無イカ。無量寿経ニ、善人行善従明入明、悪人行悪従冥入冥ト説テアル。従冥入冥ト云ハ、天理人道ノ筋合モ知ラズシテ悪業ヲノミ作レル者ハ、此世ニテハ其心闇クシテ禽獸ノ如ク、死シテ後生ハ

三途ノ闇キ所へ落入ルト云コトヂヤ。従明入明ト云ハ、能<sup>ヨク</sup>天理人道ヲ明ラメ、又往生成仏ノ道理ヲ明ラメタル者ハ、明ルキ天上界へ生レ、又明ルキ極楽界へ生ル、是ヲ度世上天泥洹ト説玉フ。其上エ他力真宗ノ極談ハ、タトイ極楽界へ生ルトモ、其中ニ報化ノ二土ガ分レテ、明信仏智ノ者ハ真実報土ニ生ル、是ヲ化生ノ人ハ智慧スダレト云フ。不了仏智ノ者ハ方便化土ニトマル、是ヲ胎生ノ者ハ智慧モナシト仰ラレタゾヤ。簡様ナ訳故、ヨクく仏願ノ生起本末ヲ聞ハケテ、往生ノ大事ヲ明ラムレバ、タトイ一文不智ノ尼入道ナリト云トモ、後世ヲ知ルヲ智者トス、トホメテアル。サア各方、コ、ハ大事ノ所ヂヤゾヤ。中等ノ暮シヲシテ居ル者ガ、ズツト仕上ゲテ大富貴ニナレバ頂上ノコトヂヤガ、若、ソコマデニハナラズトモ、ヤハリ本トくノコトヂヤ。爾ルニ、若下リくテ乞食<sup>マヤ</sup>我死ノ身トナラバ、サゾ残念ナコトデアラフ。今日我々ノ身ハ幸イ万物ノ靈タル人ヂヤ。爾ルニ、人ハイツマデモ人デサエ計リアレバヨケレド、人ガ人タルワケ柄ノ道ヲ知ラズニ暮セバ、人ト云位カラズリ落テ、三悪道ノ身トナルゾヤ。ソコデ、只今ノ御趣意ハ、人タ

ル者ハドコマデモ人ノ位ニ置ネバナラス。犬猫等ノ畜生  
ヤ、餓鬼ヤ地獄ニハ落サセマイト思召サル、有ガタキ王  
法ノ御教ヘ、天理人道ヲ明カニセヨトハ、ソコノ処ヂヤ。  
其上エ神官僧侶ニ教導ヲ仰付ラレテ、神ノ道、仏ノ道、  
其レノ教ニ乗セテ、人々ガ皆人タル道ヲ知り守ルヤ  
ウニ説キ論トセ、トノ御趣意ナレバ、人身カラ仕上ゲテ  
高天原ヘ昇ラフト、安樂仏土ヘ至ラフト、ソコノ所ハ  
人々ノ望ミ次第ヂヤ。実ニ有ガタヒ御趣意ヂヤ程ニ、心  
ヲ留メテ戴カレマセフ。

説山房夜話卷之上 終

説山房夜話卷之下

中講義 瑕丘宗興 演説  
門人 京極龍道 筆記

其五

天理人道ノワケ合ヲ、我身ニ明カニセニヤナラヌコトハ、  
夜前ノ席ニ弁ジタコトヂヤガ、コレヲ又、アラユル人々  
ニ風聴シテ知ラシメルトキハ、天理人道ノワケヲ世界中  
ヘ明カニスルト云意ヂヤ。大学ニ、明德ヲ天下ニ明カニ

セント云テアルト同ジ様ナ勢イヂヤ。ソコデ、明カト云  
ハ、顕明ノ義、又ハ明著ノ義、或ハ明白明浄ノ義ヂヤ。  
今ハ明浄ノ義トシテ見ルノガ味ハイノアルコトヂヤ。其  
明浄ノ義トハ、幽暗ウツクアラシホタレテアル所ヲ、ハツキリシ  
ヤントサセルコ、ロモチジヤ。他ニ無実ヲシカケラレテ、  
其明白ナ申シ訳モタ、ズ、無実ノ罪ヲ其マ、受テ、シホ  
タレテ居ルコトヲバ、ヌレ衣ギヌキルト云ガ、是程笑止ナコ  
トハ無イ。古シエヨリヨウ有ルコトヂヤガ、至極正直ナ  
ル者ヲバ盜ビトニ落シタリ、貞女ナル妻ヲバ奸姪フアラヤガアル  
ト嘖リタリ、忠臣ノ用ヒラル、ヲ妬ンデ、謀反人ヂヤト  
讒言シタリ、人ノ所持モヲバ我が所有モナリト理窟ヲツケテ  
推取リシタリト云様ナコトガ、皆無実ノ事柄ヂヤガ、其  
中デ、或ハ我が力ヲ尽シテ、ハツキリト其筋ヲワケ、其  
実ヲアラハシテ、無実ノヨゴレヲキツパリトキヨメス、  
グ者モアレドモ、多クハハツキリト其筋分ケル力ヲモナ  
ク、冤ウラヲ含デナク、死スルモノアリ。飽マデ筋ハ分  
ケ切テモ、傍人ハセガ皆邪曲ナル者計リデ、其正理ヲ潰シテ  
落入ラシムルモ有リ。爾レドモ正真ナル、実ハ終ニハ顕  
ハル、者デ、一旦落サレテシホタレテ居タ者が再ビ引立

ラレテ、是マデヨリモ其光リガ増シ、或ハ空ク死ヌハ死  
ンデモ、死ンダアトデ千歳ノ後迄モ其正直ノ徳ガ耀キ、  
其時無実ヲ仕カケタ者ハ、イツ／＼迄モニクマル、。ソ  
コデ、各無理ナルコトハセラレヌゾ、正直ナル実ヲ守ル  
ハ尊ヒコトヂヤゾヤ。葎生ヒシゲリテ道モワカヌ世ニ  
フルハ涙ノアメガ下哉トハ、是ハ以前ノ天子様ガ世ノ中  
道ナキコトヲ御歎キ遊バシタル御詠ヂヤ。其ワケハ、此  
皇国ハ天祖天孫ノ国ヲ立サセラレタル初メヨリ、皇統一  
系ニシテ、第一ニ君臣ノ大義ヲ示サセラレタル御国躰ナ  
ルニ、近古數百年來ノ形勢、其君臣ノ大義乱レテ、君上  
ノ治メ玉フベキ天下ノ事ハ悉ク其臣下ノ手デ計ラフコト  
ニ成リテ、天祖天孫ヨリノ御定メノ道ノ自由ニ踐ミアル  
カレヌ有サマハ、サナガラ夏草ノハエシゲリテ、広キ路  
モセバクナリ、白昼ニモ幽暗様ナルコトニテ、其御先  
祖ノ神々ハ對セラレテ御義理ノ濟マセラレヌ御苦慮ノ  
鬱々ト在ラセラレル気味合ハ、夏草ノサグラキ砌リニ、  
梅天ノ雨ノ昨日モ今日モフリツゞキテ、開晴ナラヌヤウ  
ナル態ハ、実ニヌレギヌヲメサレタル御心地ニ在／＼タ  
ラント、恐レ乍ラ、今日ヨリ御察シ申上ル所ヂヤワイノ

フ。サレバ、數百年來歴代ノ皇上様方、長々斯ルヌレギ  
ヌノ思召ノ開カセラレナダ所、天運ノメグリ／＼テ、  
今度此御一新ノ時至テ、皇上御親ラ天下ヲ治メスコト  
ニナリタハ、実ニ濛々タル淫雨ノ開明シタルガ如ク、  
前々ノ皇上様方ノ御鬱恨ヲ御慰メアラセラレ、天祖天孫  
ノ大道ノ幽暗シホタレテ有シ所ヲキツバリト顕シ、シ  
ヤントウツクシク遊バサレタガ、コノ度ノ御一新ヂヤゾ  
ヤ。コ、ノ処ガ朝廷ニ於、天理人道ヲ明カニナサレタ所  
ヂヤ。ソコデ、今日各々ヤ我々、此御趣意ノ程ヲ戴イテ、  
互ニコレヲ風聴シテ、今日ノ御一新ノ御処置ハ正直正路  
ノ天理人道ヂヤト云コトヲ、世ノ中へ広ク伝へ顕ハスノ  
ガ、天理人道ヲ明カニスルト云者ヂヤ。何ント各、正直  
ナル実ノコトハ、尊トヒ者デハ無イカ。縦ヒ其時ニハ無  
理ニラシ倒サレテモ、後ニハ必顯ハレル者ヂヤ。菅丞相  
ハ一旦無実ノヌレ衣キテ、筑紫へ流サレ玉ヒタガ、本ト  
忠臣ニ間違ナキ故、其後神トナラセラレ、北野へ祝ヒロ  
メテ、今日ニ至マデ世界中ノ人々ニ天神サマ／＼トテ、  
三ツ兜マデニモ尊バレサセラレル。其上エ、我真宗デ云  
ヘバ、元祖ヤ我祖モ一旦流罪ニ逢ハセラレタガ、其後程

ナク御召還シニナリテ、其弘メサセラレタ法門、六百余年ノ今日ニ至テ、弥々無瑕ニ益々熾シニナルノハ、其正直ノ実ガ顕ハレルノヂヤ。人々ガ皆數百年來ノ旧弊ニ慣レテ、天子様ハイツモ御隠居ノヤウニ思テ、アレデハ天理人道ニ反クト云ヤフナコトハ一向知ラズニ居タガ、此度ノ御一新デ目ガサメタ。サリ乍、ヨク／＼頑固ナ者ハ、此御一新サヘモマダオカシク思テ、御隠居ノ天子ガ世ニ出テ、イラヌ御世話ヲナサル、ト云フヤウニ、意得誤リテ居ル族ヲモ有フヤラ知レヌ故、先面々ニ我身ノ上ニ天理人道ノワケ柄ヲヨク明了ニ悟リテ、其上ヘニ天理ノ自然循環、變化ノ筋合カラ、人道ノ倫常、君臣ノ大義名分ノワケ柄ヲ述テ、世ノ中ニハツキリト知ラスレバ、人々ガ皆是レマデノヨゴレタ思ヒブリガ皆ヌケテ、天理人道ニ叶ヒタル御一新ノ御趣意ガ、天下中ニ明カルフナルワイノフ。

扱又、今度ノ御一新ハ、唯君臣ノ義ヲ正シテ、天子親カラ天下ヲ治シメスコトニナリタル御趣意バカリデハ無イ。是マデハ、世ノ中ニハ排仏ヂヤノ、毀釈ヂヤノト云テ、仏法ノ道モ、葎ノ生ヒシゲルヨウナ気味デ有タガ、ソ

レヲ此タビ、ハツキリシヤントスルヨウニ、教部省ヲ立サセラレテ、我／＼ニソレト、教導仰付ラレテ、オノ／＼、其仏祖ノ法義ヲ伝ヘテ、人々ガ皆転迷開悟、往生成仏ノ道ニ安心シテ、其安堵ノ腹ヨリ王法ノ正理ヲ奉躰シテ、マメヤカニ世ヲ度リ、天下無事ニシテ、上下安樂ニナルヤウニ教ヘ勸ル詔ガラナレバ、實ニ現当ニ世ノ御利益下サル、此上モ無キ有難キ御仁政ヂヤ。ソコデ、仏祖モ定メテ御歎ビノ眉ヲ展サセ玉フデ御座ラフ。維摩經ノ中ニハ、仏菩薩ニハ病ヒナシ、タゞ衆生ノ難義ヲ苦ニ、病ミ玉フノガ仏菩薩ノ病イヂヤト説テ有ル。ソウシテ見レバ、仏心者大慈悲是ノ処ヨリ、我等衆生ガ妄想顛倒、生死出離ノ道ヲ失フテ居ル態ヲ御覽ジテハ、嘸ヤ歎カシク思召ソウヂヤ無イカ。ソウシタトキニハ、仏祖ガ御詠歌ナサレテモ、前ノ天子ノ御製ノ如ク、葎生ヒシゲリテ道モワカヌ世ニフルハ涙ノアメガ下カナ、トヨマセラル、道理ヂヤワイノフ。仏ハ本ヨリ十方衆生ヲ救ント誓願立テ在マスノニ、教導モ行届カズ、出離ノ道ガ塞リテハ、仏ノ大悲ノ御心痛、フルハ涙ノアメガ下哉。爾ルニ、今度格別ニ滿天下ニ教法ヲ布カセ、万機普益ノ天理

人道ヲ世界中ニ明カナラシメテ、善悪因果ノ業天ノ理モ、五戒五善ノ人道ノ訳柄モ、ミナハツキリト顕ハレテ、一切衆生ニ現当二世ノ大利ヲ得セシムレバ、仏ノ本意モコ、ニ満足シ玉フ訳柄ナレバ、今度コソ、千歳一遇ノ御一新ナレト戴キ奉ラネバナラヌゾヤ。姫百合ユリヤアカルヒモノヲアチラ向キトハ、是ハ加賀ノ千代ノイタシタル句ヂヤガ、アノ百合ノ花ハ、外ノ花ノ真直ニ上向テ四方正面ニナル様ナノトハ違フテ、百合ノ花ハ惣躰、皆開クトキニハ、必ウツブク者、其中デ別シテヤサシキ姫百合ト云一種ガ有テ、恰チヨウヤ十五六ノ娘ノ子ノ若イ男ニテモ向ヘバ、何トナク羞カシガリテウツ向タリ、ウシロノ方ヘ面ヲ向ケタリスルヤウナ処ニ見立タ句ヂヤ。何ゾ内証ノコトデモ有ルナラバ、恥カシガルモ尤ヂヤガ、何事モ無イ手元ノアカルイ身ノ上ガ、ウツブクコトモ後ロムクコトモ入ラヌ筈ヂヤノニ、何ンデ其ヨウニ恥カシガルゾ。恥カシガル訳ノ無イノニ恥カシガルハ、ソレガ娘子ノ性得ノ癖ヂヤ。サア各方、凡夫ト云ハ、ヲカシイ癖ノアル者ヂヤゾヤ。人ノ躰カラダハ死ヌルト云コトハ、疑ヒモ無キアカルイコトヂヤガ、兎角今生ノコトニ引カレテ後生ガ願

ハレマセヌノ。人ト生レタ身ノ上ヂヤ故、人道ハ守ラニヤナラヌハ当リマエノアカルイコトヂヤガ、兎角私欲ニ引カサレテ、人道モ程ヨク守ラレマセヌノ。御一新ノ御趣意モ聞テ見レバ、御尤ナ明ルイコトデハ御座レドモ、兎角慣レヌコト故ニ、左程ニ有難フ思ハレマセヌト、姫百合ヤ娘子ノ癖見タ様ナガ、一通リノ凡夫ノ性得デハアレドモ、サア各方、イツ迄モ十四ヤ十五ノ娘ノヨウナ心モチデハ何ノ用事モ弁ゼヌゾヤ。アカルイコトニアカルウ成タラ、アチラ向キデハスマヌ程ニ、シヤントコチヲ向ガヨイ。善悪因果ノ天理ヨリ、生々化々ノ天理ニアカルク、天理ニ順ズル人道ヨリ、後生菩提ノ仏道ヲ窮メ、現当二世ノ利益ヲ得テ、従明入明ノ身ノ上トナルル、ガ何ヨリノ肝要ヂヤゾ。

#### 其六

大学ノ中ニ、三綱八条目ト云コトガ有ルガ、其八条目ト云ハ、格物、致知、誠意、正心、修身、齊家、治国、平天下ト云八通りヂヤ。此中デ、誠意、正心、修身ノ三ハ、我身ヲヨク治メルコト、我身ガヨク治マレバ、次ニ他家



ガ治マリ、終ニ八国モ治マリ、天下モ治マルコトニナル。途方モナイ大キナコトヂヤ。但シ是ハ上ニ立タセラル、御方ニ付テ申タコトデアアレド、サリナガラ、下々ノ者デモ身ヲ治メ、家ヲ治ルダケノコトハ、是非トモナケレバナラス。何レニモセヨ、身ヲ治ルヨリ天下ヲ治ルマデノコトノコモト、ナル者ハ、初メノ格物致知ノ二ツヂヤ。格物致知ト云ハ、一切万物ノ筋合ヲ正シテ、此レハカウ云フワケ、アレハア、云フワケト、我心ニヨク其レヲ知リ分ルコトヂヤ。箇様ニヨク万物ノ筋合ヲ窮理シテ見レバ、身ヲ治メ、家ヲ齊フル等ノコトニ安心ガ出来ル。仏願ノ生起本末ヲヨク聞ヒラキテ、明号ノイワレニ疑ヒハルレバ、極楽往生ニ安堵シテ、称名念仏ノツトメモ心ユタカニ致サレルヤウニナルノト、同ジ筋合ノ処ヂヤゾヤ。三条ノ中、其第二条ニ天人人道ヲ明カニスベキト有ルガ、右申ス所ト同ジワケ合デ、此天人人道ノ筋合ガ、我心ニ明カニ知ラルレバ、敬神愛國ノ務メモ、皇上奉戴、朝旨遵守ノ行ヒモ、自然ニ程ヨク致サル、ヤウニナル。コ、ガコモトヂヤ。ソコデ、コ、ノ所ガ尤大切ナ処ヂヤ程ニ、ヨク、心ヲ留メラレルガヨイ。先其天理ト云ハ、天然

自然ノ条理ト云コトデ、ヒトリデニ有ル筋合ト云コトヂヤ。万事万物何ニヨラズ、皆左様アルベキ筋合ガ一々ニ自然トソナハリテ有ル。其ヒトリデニソナハル処ノ筋合ノコトヲバ天理ト云。ソコデ、天理ト云ハ、別ニ斯ナ者ヂヤト云カタチハナケレドモ、其形チノ無イ処ニ於、其筋合ノ少モ違ハヌト云処ハコワヒ者ヂヤ。ソコデ、何事モ天理ニ順ジテ行カネバナラス。モシコチラノ勝手ニ任セテ無理ニコジツケテユケバ、其レガ天理ニ逆フノヂヤ故ニ、何事モ味ヨク成就セヌ。ソコデ、天理ト云者ハ、別ノ形チモ無キ者ナレド、畏レテ尊ハネバナラス者ヂヤゾヤ。其天然自然ノ筋合ト云者ヲバ、近ク云ヘバ、水ト云者ハ柔カナル者故、自由ニ上ゲ下ゲノナルモノナレドモ、其水ノ本性ハ、誰レ引下ル者ハナケレド、ヒトリデニ下向テ流レル者ヂヤ。又火ノ性ハ誰引上ル者ハナケレド、ヒトリデニ上向テ上ルモノ、其外大黃ハ自然ニ苦ク、甘草ハ自然ニ甘キ等、無量無辺ノ万物ノ上ニ、皆各其レノ自然<sup>ヨソツカフツケル</sup>条理<sup>カ</sup>ガ具ハリテ有。ソコデ、春ハヒトリデニ暖カニ、冬ハヒトリデニ寒ク、別ニ周旋<sup>セウ</sup>ノシテハ無ケレド、自然ニ其ヤウニ運ンデ来ルワケ柄ガアル。又悪

業ヲナセバ自然ニ悪果ガ報ヒ、善業ヲナセバ自然ニ善果ガ報フ。地獄ノ火車ノ迎ヒモ、極楽ノ蓮台ノ迎ヒモ、皆好事チラスキデア来ルノデハ無イ。善悪業道ノ中ニ具ハル所ノ自然ノ条理スシヤイカラ顕ハレルノヂヤ。ソコデ、一切万事ノ上ニ自然ト其レノ性ヲソナエテ、奇妙不可思議ナル筋合ノ所ガ天理ト云者故ニ、畏レテ尊バネバナラヌ者デアアラフガノウ。然ル所ガ、此天理ト云者ハ、今日ノ我々ガ是ゾト見認ルコトノ出来ヌ者ナレバ、畏レヨウモ、尊ビヨウモ無イデハ無イカト云ニ、此天理ノ顕ハレル場所ガ別ニ在ル。凡ソ天ト名ノツク者ニハ種々アレドモ、何レモ皆天然自然ノ義ニシテ、別ノ造作モチヲ須ヒズ、任運ニラウシム無功ハツノ用ヲキヲナス者故ニ、天ト名ルノヂヤ。今其天ト云者ヲツツメテ云フニ、三通リアル。一ニハ蒼天、是ハ高ク上ノ方ニ在テ、蒼々アツト見ヘル所ヲ天ト云フ。此蒼々トシタル天ヨリ二氣五行ノ氣ガ下リテ、天然自然ニ四時行ハレ、百物生ナル者故ニ、コ、ガ天理ノ顕ハレ場ヂヤ。ドコカラ誰レ世話スル者モ無イノニ、何トナクヒトリデニ春ハ花咲キ、秋ハ葉ガ落チト云フヤウニ、毎年ノ其筋合ヲ違ハヌト云ハ奇妙ナ者ヂヤ。天然自然ノ条理ハイヤト云ハ

レヌ者ヂヤト云コトヲバ、目ニ物見セテ知ラセルノハ、蒼天ノ用ハツヲキヂヤ。ソコデ、蒼天ノウエニ、自然ニ万物ノ変化消息スルアリサマノ有ル処ヲ、亦天理ト云フ。二ニハ神天、是ハ神力自在ノ用ハツヲキ有テ、任運ニヨク物ニ応ジ玉フコト、天然自然ノ如ク成故、神ヤホトケ仏ノコトヲバ神天ト云。人ノ善悪邪正、信不信ノコトヲバ、誰レ告上ルル者ハ無ケレド、其レヲヨク知ロシイキ召レテ、ドコカラトモナク、人ノ知ラヌ処ヨリ、自然ニ冥加冥罰シテ、一切衆生ヲ勸誡撫育シ玉フ故、善悪邪正、信不信ノ感応、天理自然ノ正直ニシテ、イヤト云ハレヌ筋合ガ顕ハレル。ソコデ、神ヤホトケ仏ケノ依怙イコ負ノナキ、天理任セニ主宰ナル、処トコロヲ亦天理ト云ゾヤ。三ニハ業天、是レハ業道ハ秤リノ如シト云テ、至極正直ナ者デ、善業ガ重ケレバ自然ニ善果ノ方ヘ傾キ、悪業ガ重ケレバヒトリデニ悪果ノ方ヘ傾クコトハ、他ノ手伝ヲ待タズ、己ガ作ルニ従フテ、天然自然ニ浮ミモスレバ沈ミモスル。瓢ハ大小トナク自然ニ水上ニ浮ビ、石ハ大小トナク自然ニ水底ニ沈ムト同ジ様ナル訳柄ヂヤ。少ワカヒ衆中ガ大勢寄リテ酒ヲノミ、十分ニ酔ヒノ回リタ時分ニ、其連中ガ皆起タテ、瓢箪マヤ川ヘ

蹴コング、足カラサキヘ浮テ来タト云テ躍リテ居ル。ソコデ、吾ガソレヲ聞テ、瓢ニハ足ハ無イ物ヂヤガ、ナゼニ足カラ先ヘ浮テ来タト云ヤラ、ヲカシイコトヂヤト思テ、其後其コトヲ尋ネタラ、其人等ガ其講釈ヲスルニハ、是ハイガイ、瓢ニ酒ヲツメテ、ソレヲ携テ山行ヲシテ、十分酔テ帰ルトキ、深イ川ノ橋ヲ渡リシナニ、其虚ノ瓢ヲ橋ノ上ヘ落シ、其酔タ紛レノ戯レニ、ア、ベラボウメト云テ、其瓢ヲバ川ヘ蹴込モフトシタレバ、手マエノ足ガ本ヨリフラツイテアル故、瓢ト一処ニ手マエモ川ヘハマリタノヂヤ。ソコデ、瓢ハ向フノ方ニ浮テ居ルノニ、手マエハ逆トシテ申シタ故ニ、足カラサキヘ浮テ来タト云タノヂヤト申シタ故、吾モ大キニ感心シテ、根性ノワルヒコトハ出来ヌナアト申タコトデ有タガ、昔シノ歌ニモ、タヲサレシ竹ハ其マ、ヲキアガリタヲセシ雪ハアト方モナシ、ト云テアルガ、ホンニソウヂヤゾヤ。無理ナコトヲ仕カケテ、他ヲタヲシテ難義サセル様ナコトヲスル者ガ、世間ニハマ、アルコトヂヤガ、タヲサレタ方ハ、難義ハシテモ、其マ、其所ニ暮シテ居ルガ、他ニ無理ナ難義ヲサセル様ナ悪タクミヲスル者ハ、終

ニハ身ノ置処モ無イ様ニナル者ヂヤ。是レト申スガ外ノコトデハ無イ、業道自然ノ天理ノ顕ハレチヤゾヤ。大經ノ下ノ卷ニハ五痛五焼ヲ説セラレテ、好シク惡業ヲ作ル者ハ、此世デハ痛ヒ刑罰ヲウケ、後生ニハ惡趣ニ墮チテ焼ル、ゾヨト仰ラレタ。是ガ惡因惡果ノアタリ前、天道自然、不得蹉跌ノ筋合ナレバ、何ンボ願ハヌ地獄デモ、往クヨリ外ハ無イワイノフ。ソナラ、地獄ヲ怖ガルヨリ、マンダ畏イハ我ガ手元ヂヤ。今日ノ所作ヲ慎シマツシヤレヤ。六方礼經ニハ、歡喜シテ詣地獄ト説テアルゾヤ。地獄ヘ往フト思テ罪ハ造ラネド、無理ナ私欲ヲ働イテ、味イコトシタ、ヨイモウケシタ杯ト、ニコく貌デ居ル其マ、ガ、直ニ地獄參リノ業、惡果ヲ招ク条理ヂヤワイノフ。業ト云モノハ、口ヤ躰ニスル業ナレバ、目ノ前近キ事ナレドモ、其中ニ於、イヤト云ハレヌ天然自然ノ筋合ガ、ハツキリトヨク顯ハレル。ソコデ、業道ノコトヲバ、亦天理ト名クルノヂヤ。凡ソ天理ト云モノハ、別ニ象トリヨウノ無キ者ナレバ、凡夫ノ我々ニハ知リガタキ所ナレドモ、右申シタ所ノ三天ノ処デ、人々ガ皆天理ノ訳柄ヲ承知スルコトガ出来ル故、今ノ三通リノ

天ガ、即チ天理ノ間屋ヂヤ。万物万事ノ上ニ具ハル所ノ  
天理ヲバ、ヨク顕ハシ分ケル捌場ガ今ノ三天ヂヤ故ニ、  
三天ノ中ノ天然自然ノ相ヲバ、皆亦天理ト云フ。サレ  
バ、天理ニ順フト云ハ、善悪業道ノ正直ナル所ヲ畏レテ、  
神ヤ仏ケノ思召ニ背カヌヨウ、眼前ノ四時、変化ノ筋合  
ヲナガメテ、万事程ヨク行フノガ、取りモノヲサズ、天  
理ニ順フト云モノヂヤゾヤ。他力真宗ノ法門デ云ヘバ、  
真如法性ノ理ト云者ハ、仏ヤ菩薩ノ境界デ、凡夫ノ我々  
ニハ中々証ラレル者デハ無イガ、釈迦、弥陀ニ尊ノ仰セ  
ニシタガヒ、名号ノイハレヲ聞開ケバ、隨順法性ト云テ、  
不<sub>レ</sub>知不<sub>レ</sub>覺、其真如法性ノ理ニ順ズル故ニ、凡夫ノ身ナ  
ガラ正定不退、必定ノ菩薩ト云ハレ、補処ノ弥勒ト同ジ  
ク、大般涅槃ヲ証ル身ゾト、有ル処ト同ジ筋合ノ事ナレ  
バ、信心決定ノ身ノ上モ、未決定ノ人ノ信心ヲ取ント思  
フ人々モ、ヨク<sub>レ</sub>心ヲ留テ、聴テ置ネバナラヌコトヂ  
ヤゾヤ。

### 其七

世間ノ諺ニ、蛇ノ道蛇ト云コトガ有テ、何レモ其筋<sub>レ</sub>

ノ道ニハ賢イ者ヂヤガ、今我々ハ、幸イ二人ト生レタル  
者ナレバ、人道ニハ嘸委シカラフト云訳ヂヤガ、各方、  
人道ハヨク知レマシタカ。先ヅ人ト云名ノ附タノハ、ド  
ウシタ訳ゾト云ヘバ、人ハ仁也ト註シテ、仁ハ物ヲイッ  
クシミ、アハレム意ヂヤ。ソコデ、惻隱ノ心ハ仁也トモ、  
又仁ノ端也トモ云テアル。惻隱ト云ハ、幼キ児ガ這ヒア  
ルキテ井ノ中ヘハマラフトスルトキ、ソレヲ見レバ、イ  
カナルアカノ他人デモ、心ノ内ニハツト思ヒテ、覺エズ  
ソコヘ走リツイテ救フ様ナ味ヒヂヤ。ソシテ、人ト云  
名ノ付テアル者ハ、他ツキコカシテモ、我サエヨケレ  
バヨイト云ヨウナ行ヒハ致サレ又筈ヂヤゾヤ。人ハ本ヨ  
リ禽獸ニ異リテ、万物ノ靈ヂヤト申スコトヂヤガ、馬ト  
云物ハ、若人ガタラレテ馬ノ下ヘナルコトガ有テモ、馬  
ハトント其人ヲフマヌ者ヂヤト云フガ、ソコカラ見レバ、  
ヲシ込ミヤ追ハギハ云ニ及バズ、借リタル物モ返サズ、  
恩ヲ仇デ報ジテ他ヲフミタラス様ナコトデハ、馬ニ向フ  
テモ面目無イゾヤ。今其人道ト云ハ、人ノ形チデ居ル者  
ノ是非トモ履ミ行ナハネバナラヌ所ノ事ヂヤ。其人道ノ  
事ガラト云ハ、スナハチ五倫五常ノコトヂヤ。其五倫ト

云ハ、君臣ト父子ト夫婦ト兄弟ト朋友トノ五ツヂヤ。倫ハ類也ト云テ、人ノ身ノ上ニハ此五類ガ分レルト云コトヲ五倫ト云。ソコデ、此五品ガハツキリト分ル処ガ人道ヂヤ。此五ツガゴチヤマゼニナレバ畜生モ同コト、ソレデ尊イ卑イノ分チモナク、親子モ夫婦、兄弟ハ他人ノ始マリヂヤト云様デハ、狗猫モ同ジコトデアラフガノフ。然ルトコロガ、畜生デモ親子ヤ兄弟ハアル者ユヘ、此五類ダケハ、一往ハ畜生ナドニモ有ルヨウナレドモ、畜生ナドニハ五常ト云コトガ無イ故、五倫ト云コトモ立タヌノヂヤ。五常ト云ハ、仁義礼智信ノ五ツ、此五ツハ須臾モ無クテハナラヌ者故ニ、常ト云フ。画ヲ書テ、五色ノ画具ヲ取ソロエタガ、ソレヲ一処ニシテ水デトイテ、ベタ／＼トヌリテハ、何トモ知レヌ色ニナル。ソコデ、一色／＼別々ニ膠デトイテヌルトキハ、キツパリトシタ美シキ彩色ニナル。此タビ人身ヲ受タノハ画ヲ書タ様ナモノ、其中ニ五倫ノアルノハ、五色ノ画具ヲト、ノエタ様ナ者。然ルトコロガ、主人殺シヂヤノ、親不孝ヂヤノ、夫婦喧嘩ヤ、兄弟セリ合計リシテ居ルノハ、水デトイタゴチヤマゼノ彩色ミタ様ナ者ヂヤ。ソコデ、ハツキリト

シタ美シキ人道ヲ立ヨウナラ、五倫ノ中ノ倫々ニ、皆五常ノ膠ヲ用ヒテユカネバナラヌ。五常ニ離レタ五倫ナラ、五倫モ真ノ五倫デハ無イ。五常デカタメタ五倫コソ真実ノ人道ヂヤ。ソコデ、五倫ト五常ト一ツツ、ワリ当レバ、父子ノ際ハ仁、君臣ノ際ハ義、夫婦ノ際ハ礼、兄弟ノ際ハ智、朋友ノ際ハ信ト、箇様ニワリアテルコトモアレドモ、是ハ一往ノコト、其実ハ、一倫／＼ニ皆五常ガ具ハラネバナラヌ。ソコデ、此五倫ト云者ハ、機ノ経イトヲ組立ル様ナモノ、五常ト云ハ、機ノ緯糸ヲ織ツケル様ナ者ヂヤ。此タテヨコソロフタ処デ一匹ノ段〔反〕物ヂヤ。今ガ恰ドソノ様ナ者デ、一人ノ我身ハ一匹ノ段〔反〕モノ、如ク、我身一人ノ上エニ五倫ノタテト五常ノヨコトガソロハネバナラヌ。先五倫ノタテト云ハ、我身ヲバ、其生ンデ下サレタ人ヘ向ケレバ、親子ノ一類ガ立チ、又我身ヲバ、其養フテ下サル、人ニ向ケレバ、君臣ト云一類、又我身ヲバ、其ツレソウ人ヘ向ケレバ、夫婦ノ一類、又我身ヲバ、其一処ニ出テ来タ人ヘ向ケレバ、兄弟ノ一類、又我身ヲバ、其日頃ツキ合フ人ヘ向ケレバ、朋友ノ一類、我身ハ唯一ツナレドモ、其向ケ処ニ依テ五品ノ類

ガ分レテ、一人ノ我身ガ、親子ノ道ニモ、君臣ノ道ニモ、皆ズツトツキ通ル者ユヘ、五倫ハタテ糸デアラフガノフ。箇様ニ一人ノ身ニ、五倫ノタテハ本ヨリ具ハリタル者ナレドモ、ソコノ処ヘ五常ノヨコヲ織ツケネバ、本真ノ一人ノ人ト云反物ニハナラヌ。ソウシテ、其ヨコト云モノハ、一筋ノタテ糸ニ残ラズ織ツケテユクノヂヤ。ソコデ、親ニ向テモ、子ニ向フテモ、皆仁義礼智信ト云ヨコイトヲ用ヒテユカネバナラヌ。君ニ向テモ、臣ニ向テモ、夫婦、兄弟、朋友、何レニモ一々ニ、皆此五常ト云モノヲハナレテハナラヌ。親ニ事フルニハ、先其親ヲ大切ニ愛スル思ヒガ仁、又愛スレバトテ、飼テラク犬猫ヲ愛スル様ナ愛シ方デハ、真ノ孝行ニハナラヌ。ソコデ、論語ニハ、何ヲ以犬馬ニ分タシヤト、子游ノ行ヒガ誠メテアル。ソレ故、其仁ノ次ニ義ト云者ガ人ルノヂヤ。義ハ宜也ト云テ、其アタリマエノ程ヨキ筋合ヲコ、ロエテ扱フコト。次ニ礼ト云ハ、何ンボ親シキ親子トハイヘドモ、心ヤスタテラセズ、四角四面ニ敬フテ、朝夕ノ機嫌伺イ杯ハイタサニヤナラヌ。サリナガラ、アマリ四角四面ガ過ルト、親シイ味イガ薄クナル故、論語ニハ色難シ

ト云テ、子夏ノ行ヒガ誠メテ有ル。又何事ニモ、是非ノ分別ガ無クテハナラヌ。分別ナシニ行ヘバ、仁義ヂヤ礼ヂヤト思テ仕テモ、真トノ仁義ニモ礼ニモナラヌコトガ出来ル。ソコデ、ソウカ、ソウデナイカノ分別ヲスルノガ智ト云モノヂヤ。箇様ニ仁義礼智ノカタチハ備リテモ、カタチバカリデハ、ニセモノニナルコトガ有ユヘ、心ノマコト、云コトガ肝要ヂヤ。ソコデ、マコトノ心ヨリ仁義礼智ヲ行ヘト云フノデ、信ト云モノヲ終リニ置タノヂヤゾヤ。右ノ如ク、親ニ事フル孝行ニ、五常ノ道ヲ具スルガ如クニ、君ニ事フルニモ、此五常ヲソロヘテ行ノガ忠義ノ行ヒ。此外、親ガ子ヲ扱フモ、君ガ臣ヲアシラフモ、夫婦、兄弟、友ダチノ中、何レニモ、皆此五常ヲソロエテ行フテユクノヂヤゾヤ。カクノ如ク五倫ノタテニ五常ノヨコヲ織ツケテ、前後始終怠リナク、程ヨク行フノガ、一段〔反〕ノハタヲ仕上ゲタ様ナ者デ、ヨク人道ニ叶フタメデタキ人間サマヂヤゾヤ。曾子ノ言ニモ、官ハ 宦 成ルニ怠リ、孝ハ妻子ニ衰フト云テアルガ、若イ息子ノ時分ニハ、エロウ親ヲ大事ニシタガ、妻ヤ子ドモガ出来テカラハ、親ヲバ一向邪魔ニスルノ、卑

イ役目デ居ルトキハ、主人ニモ忠義ヲシクシテ居タガ、

段々役ヲ上リテ見レバ、イツノ間ニヤラヨイ氣ニナリテ、

終ニハ主人ヲナイカシロ蔑ニイカシロニスルト云ヨウナアリサマ光景ガ、世間ノ上

ニハ多イ者。始アラザルコトナシ、ヨク終リアルコトス

クナシト詩経ニモ云テアルガ、ホンニソレニ違ヒハ無い。

筒様ナ訳柄デハ、折角織カケタハタヲ、織リヲロサズニ

シマフノヂヤ。ソレデハ我軀ヲ覆フ間ニハアワヌゾ。タ

トヒ錦ハマトハズトモ、セメテハ裸デ居ヌガヨイ。廿四

孝ノ仲間ニ入タリ、忠臣蔵ニ作スラレタリスルヨウナコト

ハ、タトヒ我身ニ及バズトモ、セメテ不孝不忠ノ悪人ト

云ハレヌヨウ、高士伝ニノセラレタリ、列女伝ニホメラ

レタリスルヨウナコトハ、タトヒ我身ニ出来ズトモ、セ

メテノコトニ、餓鬼ヂヤノ畜生ヂヤノト云ヨウナ辱ウツカシ

メラ受ヌヨウ、木綿モノデモ洗濯モノデモ、シヤントシ

タノハ、リ、シイモノ、人間一生五十年、人ハ人ラシク

無難ニ暮シ、民ノ父母タル君サマニ、ワルイ御苦労カケ

奉ラヌヤウ、拔苦与楽ノ御サ仏ケノ、御ムネ痛メラ致サヌ

ヨウ、生イテハ国家ノ良民トナリ、死シテハ浄土ノ聖衆ト

ナルナラ、是ガ誠ニ人界受生ノ大慶ト云モノヂヤワイノ

フ。

其八

扱、御互イ二人ト生レタ身ノ上故、是非トモ人道ハ守ラ

ニヤナラヌガ、此人道ト云ハ、人ノ細工デ出来タ者デハ

無い。其源ハ天理ヨリ出タ者デ、必天理ニ順ズル者ヂヤ。

天理ニカナハヌ所作ナレバ、ソレハコチラノコシラヘゴ

ト、誠ノ人ノ道ナレバ、必天理ニ契カキフゾヤ。其訳ハドウ

ゾト云ニ、天理ホド正真正路ニ堅固ナ者ハ無い、千万歳

ノ昔シカラ、此レハチヨットモカハラヌ者、一年ノ四時

ハ次第二移リ、寒暖風雨ハ種々ニカハレドモ、其通り毎

年ノ同様な事、筒様ニカハリテカハラヌノガ、蒼天ノ

天理ノ誠ヂヤ。悪ヲスルニモ段々アレバ、悪ノ報ヒモイ

ロノカハル。善ヲスルニモ段々アレバ、善ノ報ヒモイ

ロノカハル。カハルカハリハ有ルケレド、悪ヲナセバ

悪報ノ禍イ、善ヲナセバ善報ノ福サイフイト云コトハ、昔モ

今モ露チリ程モカハリハ無い。筒様ニカハリテカハラヌ

ノガ神天業天ノ誠ヂヤ。誠ハ天ノ道ナリト中庸ニモ云テ

アルノハ、コ、ノ処ヂヤ。ソコデ、其天理ノ正直ナル、

カハラ又誠ニ從フテ、ヨク誠ヲ尽スノガ人道ヂヤゾヤ。知〔智〕仁勇ノ三八天下ノ達徳ナリ。コレヲ行フ所以ンハ一也ト云テアル。其一ト云ハ何モノゾト云ヘバ、是ハタゞ誠ト云フ一ツヂヤトアルゾヤ。ソコデ、神仏ノ道モ聖人ノ道モ、唯正直ニシテカハラ又誠ト云ヨリ外ハ無イ。此カハラ又誠ト云処ガ大事ナ処デ、コ、ヲ取違ヘテハナラヌゾ。凡夫ノ上エニハ、多クハカハラ又誠デハ無フテ、カハラヌウソヂヤワイノフ。カハラヌウソト云ハ、表テ看版ハ本トノ通りニ相カハラズ、尤ラシクシテ居ルガ、内ウラハ、コロリトウソニナリテアル。ソコデ、善導大師ハ是ヲ外現賢善、内懷虚仮ト仰ラレタ。今カハラ又誠ト云ハ、表テ看版ハ時ニ随フテカハルコトハ、マサカアラフトモ、内ウラハ、イツマデタチテモ、少シモカハラヌノガ誠ト云者ヂヤ。大石由良ノ助ガ東京泉岳寺ノ墓ニハ、由良ノ助ノコトヲバ忠誠院トイタシテアルガ、由良ノ助モ一カノ茶屋デサワイデ居ル時分ハ、表看版ハ、コロリトカハリテ有ラフガノフ。サリナガラ、最初四十七人ノ者、心ヲアワセテ主人ノ仇ヲウタフト云約束ヲシテヨリ、敵キウチヲシ遂ルマデ、心ノ内ニハ一日片時モ忠

義ノ思ヒハカハリハセヌ。ソコガカハラ又誠ヂヤゾヤ。仏教ニ於ハ、本ヨリ真俗二諦、真実方便、俗諦方便ノ方ニ就テハ、時ニ臨ンデイロ／＼カハルコトモアレドモ、真諦真実ノ処ニ於ハ、露チリ程モカハリハ無イ。殊ニ我方真宗ノ教ヘハ、タトヒ牛盜ビト、ハイハルトモ、仏法者後世者ノ貌ヲミセルナト云ヒ、内心ニハ、速カニ金剛ノ信ヲ得テ、其後人間ノアリサマニマカセテ世ヲスゴスベキコト肝要ナリト勸メテ、表テスガタハ時宜ニ随フテ、イロ／＼カハルコトハアレドモ、内ウラノ誠ハ些シモカハラヌ。ソコデ、カハリテカハラヌノガ、真実ノカハラ又誠ト云モノヂヤゾヤ。

今般御一新ノ御仕方、イロ／＼カハリタコトガアレドモ、是ガ即天道ノ四時ノカハリ、寒暖風雨ノカハリニヨク相叶ハセラレタル人道ヂヤ。人道ノ行ヒ方ハイロ／＼カハレドモ、人道ノ道躰ハ少シモカハル所ハ無イ。冬ノ寒カリタコトバカリ覚ヘテ居テ、サテ何トシタ熱イコトガ出テ来タヤラト、夏ノアツサヲ嘲ルヨウナ者ナレドモ、去年ノ夏ヲ思ヒ出シテ見リヤ、何モカハリタコトハ無イ。今日ノ御一新ハ、即チ復古ト云テ、古シエノ御政事ヘモ



ドサセラレテ、其レヘ外国ニモヨキコトアレバ、ソレヲ  
取り用ヒテ、復古ノ御政事ヲ潤色ナサル、ダケノコトデ、  
何モ怪シイコトハ無イ。爾ルニ、タゞ五十年ヤ百年ヤ二  
三百年前ノコトダケヲ思フテ居テ、千年二千年前ノ事ハ  
一向知らヌ者故ニ、今日復古ノ御一新ニ遇ヘバ、途方途  
轍モ無イ事ガ出テ来タ様ニ思フテ、恐レモ顧リミズ、カ  
ゲ言云テ御上ヲ嘲ケル様ナコトハ勿躰ナイ。其レガ真ノ  
頑固ト云者デヤ。去年認メテ置タ晴雨日記ヲ取出シテ、  
去年ノ今日ハ静カナ好イ天気デ有タガ、今年ハ途方モ無  
イアライ風雨ノ悪日デヤ杯云様ナ、ツマラヌ小言ヲ云ヲ  
ウナラ、尽ルトキハ無イ。是ガ所謂ル天地ノ大ナルモ、  
人猶ウラム所アリノ風情デヤガ、万ツノコトバ一一合  
セテ云ヲウナラ、天地間ノ万物、麦ヤ米ノ出来不出来ナ  
ドヤ、一年四時ノ間ノ風雨陰晴杯ニ於ハ、違フコトハ仰  
山アルガ、ソレハ天地生々化々ノ窮リナキ光景デヤ。ソ  
コデ、其細カイ所ヲ引合スレバ、種々サマ／＼ノカハリ  
ハアレドモ、一年四時冷暖寒熱、夏ハ熱ク冬ハ寒シト云  
ヨウナ大躰ニ於ハ、昔ヨリ終ニカハリタコトハ無イ。麦  
ヲマケバ麦ガハエ、米ヲマケバ米ノハエ出ルト云様ナ筋

合ニ於ハ、今ニ至テ少シバカリモ狂イハ無イ。サア、  
コ、ノ処ガイヤト云ハレヌ天理デヤゾヤ。朝廷ノ御制度  
モ昔ト今トノカハリモ有リ、前ト後トノカハリハ有テモ、  
億兆保安ノ大躰ハ、少シバカリモカハラセラル、コトハ  
無イゾヤ。億兆保安ト云ハ、天子ハ民ノ父母デヤ故、何  
トゾ程ヨク国ヲ治メテ、民百姓ヲ安カラシメヨフト思召  
スヨリ外ハ無イ。ソコデ、ナサレ方ハイロ／＼有テモ、  
其結婦スル動カヌ所ハ、唯万民ヲアハレミ玉フ仁義ノ大  
道デヤワイノフ。尚書ニ、善ヲナスコト同ジカラザレド  
モ、同ジク治ニ帰ストアルノハ、コ、ノ処デヤゾヤ。箇  
様ナ訳柄故、今日御一新ノ御制度ハ、生々化々、變化隨  
宜ノ天理ニ順ジ、善惡禍福、勸善懲惡ノ筋合ヲバ、少シ  
バカリモ違ヘ玉ハヌ御法則ナレバ、有ガタク頂戴イタサ  
ネバナラヌコトデヤ。

扱、王法御一新ノ御趣意、バカリデハ無イ、其身／＼ノ人  
道モ、ソレ／＼皆惡ルガタマリ無ク、ヨク推シ遷ルノガ  
肝要デヤ。其變化ト云コトハ、タゞムヤミニ早ガワリス  
ルノガヨイト云ノデハ無イゾ。昨日マデハ農業ヲシテ居  
タガ、今日ハ商人ニナリ、昨日マデノ酒屋ガ今日ハ酒屋

二成テ居ルト云フ様デハ、一向シダラガ無イ。今ノ変化ト云者ハ、ソウデハ無イ、居ハル処ハシヤント一ツニスワリテ置テ、其中デ、ヨク物ニ応ジ、時ニ随テ、ソレハ二右ヘハ右、左ヘハ左、棘ハ一ツナレドモ、其相手次第デ、イロハトカハリテユカネバナラヌ。親ヤ主人ノ喚バル、トキニハ、ヘイトカ、ハイトカ返事スル。

我児ヤ我が召使フ者ト物ヲ言フトキハ、ヲ、トカ、ウントカ返事スル様ナ処ガ、ソレガドチラモ皆礼義ノ相チヤ。四角バリタ計リガ礼義デハ無イ。万事ノ道ガ皆其通りヂヤゾヤ。寒中ニ帷子衣タリ、暑中ニ緇袍ヲ着タリシテ居ル者ハ、アタリ前ノ人デハ有ルマイ。熱イ寒イハ変化ノ自然、ソレニ応ジテ布子ノ折ニハヌノコ、帷子ノ折ニハカタビララ着ルノガ天理ニ順ズル人道ヂヤ。コレヲノ筋合ハ、誰モ日頃承知ノコトヂヤ。ソコデ、面々ノ職分一ツニ腹居エテ、其中カラ、ソレハ二事ニ応ジテ推移ルノガ、真ノ変化ト云者ヂヤ。尻ヤケ狙ノ、アレヘモカ、リ、此レヘモカ、リテ、商売ガエバカリシテ居ル様ナコトトハ、エライ違ヒヂヤゾヤ。人間界ヘ生レテ、人ト云ハル、者ハ、人道ト云テ、人ノ人タル道ヲ大切ニ

守ルノガ、是ガ人タル者ノ第一ノ職分ヂヤ。先其人道ノ職分ヲ守ルノニ、五倫ト云テ相手ガ五ツ有ル故ニ、ソレハ二変化シテユカネバナラヌ。其人道ノ行ヒ方ハ、相手次第デカハリテユケド、其人道ノ土台ハ少シモ動かヌゾヤ。人ト云ハル、者ガ、折々ハ犬猫ノ道モ遣テ居ルト云テハ濟マヌゾ。

扱、其変化ノ仕ヨウヲ申サバ、先ヅ天地自然ノ陰陽ノ徳ガ五行ト分レテ、其木火土金水ノ五行ガ仁義礼智信ノ五常ノ道トヨク相応シタ者デ、其天ノ五行ノ徳ノ上エニ、ヨク変化スル筋合ガ備ハリテ有レバ、人ノ五常ノ道ニモ、其変化ノ筋合ガソナハラネバナラヌ。各方、コ、ヲヨク思テ見ラレヨ。我家ニ於、此方ハ此家ノ主デ、親ヂヤ旦那ヂヤト思テ居テモ、我子ニ向テコソ親ナレ、復我親ニ向ヘハ、我身ハ子デアアラウガノフ。我家デハ旦那親シテ居テモ、又其主家ニ向ヘバ、我身ハ臣ヂヤ家隸ヂヤト云ハネバナラヌ様ナ者デ、一人ノ我身ガイロハノ芸ヲセネバナラヌ。ソコデ、唯一ツニ凝リカタマルコトハ出来ヌ。ソコノ処ガ、天ノ五行ガ熱イ寒イノ一氣ニ滯ラズシテ、寒トナリ熱トナリ、雨トナリ風トナリ、露トナリ雪

トナリ、入レカヘ取カヘ、ヨクカワリ移リテ、天ガ下ノ  
万ヅノ物ヲ育ツル様ニ、人モ亦ソレノ向イ処ニ從フ  
テ、ソリカエリテ物言フテヨイ処モアリ、頭ヲ地ニツケ  
テ物言ハネバナラヌ処モアリ、哭クベキ時ニハ泣キ、笑  
フベキ時ニハ笑ヒ、喜ブベキニハ喜ビ、唄ルベキニハ怒  
リ、喜怒哀楽等ノ七情ガ程ヨク節ニアタリテ、ソレノ  
ニカワリ移リテ五常ノ道ヲ行ナヒ、我ガイタスベキコト  
ヲ致スノハ善、我ガ致スマジキコトヲ致スノハ惡ト、人  
道ノ土台ノ違ハヌヨウニ意得テ、ヨク勸善懲惡ノ訓ヲ  
守テユク処デ、一軒ノ家モ治マリ、国モ天下モ皆其大小  
ニ随フテ味ヨク治マリテユクノガ、天理ニ順ズル人道ノ  
所詮ヂヤワイノフ。箇様ニ、ヨク人道ノ筋合ガ聞コエテ  
見リヤ、仏道ノ筋合モヨク合点ガユクゾヤ。ドチラヘシ  
テモ、カハリテカハラヌ誠ト云処ガ肝要ナ処ヂヤ。耆提  
夫人ハ弥陀ノ御姿ヲ見テ信心ヲ得、其余ノ人ハ弥陀ノ名  
号ヲ聞テ信心ヲ得ル。見ルト聞クトノカハリハアレドモ、  
共ニ仏意ヲ悟ルノヂヤ。熊谷蓮生ハ、爾ラバ法力モルベ  
カラスト、信不退ノ座ヘ居ハリ込ミ、熊野詣テノ平太郎  
ハ、現世祈リノ人ニ似テ雜行雜修ノヨウナレドモ、俱ニ

一向專修ノ行者、正念、意念、狂亂、無記ノ四種ノ往生、  
往生人ノ手元ニハ、イロノカハル相ハアレド、一味  
領解ノ信心ニカワリガナケレバ、同ジ浄土ノ往生ヂヤ。  
箇様ナ訳柄故、何ニツケテモカワリテカハラヌ誠ガ大事、  
コ、ノ道理ヲ程ヨク聞開イテ、浄土參リニ安堵ヲ致シ、  
御一新ノ御趣意ヲ有ガタク戴キ、現当二世ノ歎ビヲ致サ  
ル、ガ、真ノ開化ノ出来タノヂヤ。

#### 其九

三条ノ中、第三条目ニ、皇上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵守スベシ、  
トノ御趣意ヂヤガ、是ハ今日ノ天子様ヲ大切ニイタゞキ  
上ゲ、其仰セ定メサセラレル御掟ノ趣キヲバ、慎テ守リ  
奉レトノ御示シヂヤ。爾ル処ガ、一往是ヲ聞ケバ、官  
カラ箇様ナコトヲ仰出サレルノハ、ヲカシゲナ者ヂヤ。  
大事ニ戴カニヤナラヌ御方様ナラ、仰ラズトモコチラ  
カラ大事ニ戴ク。守ラニヤナラヌ有難ヒ事ナラ、仰セラ  
レズトモコチラカラ大切ニ守ル。ソレニ箇様ナコトヲ  
官カラ仰出サレルト、何カ直ウチガ無イヨウナ抔ト思  
フ者モアラフガ、ソシナコトヲ云ヲウナラ、親ガ子児ヲ

訓ヘル第一ニ、親ヲ大事ニシテ、親ノ言フコトヲヨク聞カネバナラヌゾ、親ノ言フコトヲキカネバ、果ニハ家ニ居ラレヌゾト云テ聞カセルデハ無イカ。イカニモ其通り、親ヲ疎末ニシテ親ノ言フコトキカヌ様ナ者ハ、果シテ其家ノ相続人ニハナラズシテ、終ニハ橋ノ下デコモカブル様ナ者ニナル者デヤ。又仏ノ教ヘデモ、帰命仏帰命法ト云テ、仏ヲ大事ニ思ヒ、法ヲ大切ニ思ヘト仰セラレルノデヤ。イカ程、仏ノ大悲デ衆生ヲタスケヨウトナサレテモ、逆謗ト云テ、仏ヲソコナヒ、法ヲ謗ル様ナ者ハ、タスケヨウガ無イ故、弥陀ノ十八願ニモ唯除ト云テアルソコデ、病氣ノ養生ニハ、医者ノ療治ヲタノムヨリ外ナク、我家ヲ相続スルニハ、親ノ教ヘヲ大事ニ思フヨリ外ナク、天下ニ住居ヲスル身ノ上ハ、天子様ヲ戴イテ、其仰セゴトヲ大切ニ守ルヨリ外ハ無イ。此レヲステ、カ、ル者ハ、我身ヲ捨テカ、ルノデヤ。ソコデ、ソレヲ救フノニハ、今ノ様ニ誨ヘネバナラヌ。ソシテ、親カラデモ、官カラデモ仰セラレテ下サル、ノハ、取りモナラサズ、我身ノ行ク末ヲ恤レンデ下サル、ノデヤ。小言ノ云ハル、場所デハ無イゾヤ。ソコデ、今皇上下朝旨トノ

二ツハ、医者ト薬リトノ如ク、又仏ト法トノ如ク、親ト親ノ言フコトトノ様ナ者デ、此二ツハハナスニ離サレヌ者デヤゾヤ。病氣ヲ引受テクルル人ハ医者也。医者モ亦空手デハ病イハ治サレヌ故、ソコデ薬リ。ナンボ、仏ガ衆生ヲ撰受サセラレテモ、法デナケレバ衆生ハ救ハレヌソコデ、阿弥陀仏ハ衆生ヲタスケウトテ、五劫永劫ノ御骨ヲ折ラレテ、十劫正覺ノ名号法ヲ御成就ナサレタ。法ハ仏ノ御苦勞デ出来、仏ハ其法ヲ用イテ衆生ヲ救ハセラルルノデヤ故、仏ト法トハ、ドウシテモ離スニハナサレヌ者デヤ。ソコデ、一ト口ニコレヲ仏法ト云フ。又、弥陀ノ名号デヤノ、他力ノ本願デヤノト云テアルモ、同じコトデヤ。ソコデ、今日ノ我々ガ後生ユクサキノモタレ所ハ、仏ト法トノ二ツデヤゾヤ。

今皇上下朝旨トノ二ツハ、我々ガ、心ヒロク、ト世渡リノ出来ルコトモトデヤ故ニ、我等一生涯ノモタレ所デヤ。ソレナラ大事ニ戴キ奉リ、大切ニ守リ申サイデハナルマイガ。我身ノ今日ヲ御引受下サル、ハ、四海統御ノ天子様デヤ。若天子ガマシマサネバ、世ノ中ハ強イ者ガチニ成テ仕方ガ無イゾヤ。爾ルニ、博施濟衆ハ堯舜モ猶病メ

リト云テ、ナンボ天子様ガ引受サセラレテモ、広イ世界  
ヲ戸ゴトニ回リテ御世話ノナサレヨウハ無キ故、御政事  
ノ法ヲ設ケサセラレテ、保安ナサレテ下サル、故、家業  
家職ノイタシヨウカラ、家内喧嘩ノ取ヲサエマデ遊バサ  
レル道理ニナル。ソコデ、此皇上ト朝旨トノ二ツハ離ス  
ニハナサレヌ、我々が今日ノモタレ所デヤ。白隠和尚ノ  
ヨマレタ歌ニ、楽シミハ後口ニ柱前ニ酒氣ニアフタ客ス  
リ鉢ノ音ト。是ハ世ノ中ノ一番氣ノヤスイ楽ミゴトヲバ  
数ヘタテタ歌デヤガ、此一首ノ中ニ四通リノ樂事ガ出シ  
テアル。一ニハ、ウシロニ柱、是ハ丈夫ナモタレ物ヲヒ  
カエタコ、チハ、氣ノ楽ナモノデヤ。二ニハ、前ニ酒、  
是ハ酒ズキナ人が、実ノアル徳利ヲ前ニツキ立テタ心モ  
チハ嘸嬉シイ者デアラフ。三ニハ、氣ニアフタ客、是ハ  
八苦ノ中ノ怨憎会苦ハ氣ノアワヌ同士、一処ニ暮ラス程  
憂イ者ハ無イニ、日頃我心ニスイテ、心待チシテ居タ人  
ガ、タマサカニ出テ来タトキハ言フニ云ハレヌ心楽ミナ  
コトデヤ。四ニ、スリ鉢ノ音、是ハ友ダチノ所ヘデモ往  
テ、ユル／＼話シヲシテ居ルトキ、厨ノ方デゴロ／＼  
トスリ鉢ノ音ガスル、是ハドウヤラ吾ガ好ナヲ見カケテ、

トロ、汁ヲセラレルソウナ、モウ追付出サル、デアラフ  
ト思フ様ナトキハ、何トナク心嬉シイモノデヤ。右ノ四  
通りノ中、ドレーツデモ皆楽ミデヤガ、若、此四ツガ一  
時ニソロフタナラバ、格別ノ楽ミデアラフ。

扱、右ノ四楽何レモ皆樂事ナレドモ、其中デ、何ガ一番  
ノ楽ミデアラフト云ニ、酒ノスキナ人ハ、吾ハ徳利ノ顔  
見ル程ナ楽ミハ無イト云ヒ、芋汁ノスキナ人ハ、吾ハド  
シナ馳走ニアフヨリ、トロ、汁ノスリ鉢ヲ待ツノガ一番  
樂ミデヤト云ヒ、又日頃閑人デツレノホシイ様ナ人ハ、  
ワシハ氣ニ入タ客ノ来ルノガ一番樂ミデヤト云ハル、デ  
アラフ。然ル処ガ、柱ニモタレテ居眠リデモスルノハ、  
随分ヨイ者ナレドモ、サリナガラ、別ニ樂ミト云程ノコ  
トハ無イト、誰シモ思フヨウナコトデヤガ、ヨク／＼思  
テ見レバ、此ウシロ柱ガ楽ミノ中ノ第一デヤゾヤ。ナゼ  
ト云ニ、ウシロ柱ト云ニハイロ／＼アル。世ノ諺ニ、術  
無イトキニ親出セト云ガ、サア、マサカノ時ニウシロビ  
カエノ有ル程ナ安心ナ楽ミハ無イ。沢山ニ弁当仕込ンデ  
ユク故ニ、花見ガキツウ楽ミナ、空腹カ、エテハ、ドン  
ナ花デモ面白フ無イ。花ヨリ団子トハ、ヨク言フタ者デ

ヤ。「吉野山花ノ下ヨリシテ見リヤ、何事ニモ丈夫ナウシ  
ロビカエト云者ガ無ケレバ、真実ノ楽ミニハナラス。旅  
ハ憂イモノツライ者、ナレドモ錢金サエ持テバ、馬ニモ  
乗ラレ、輿カゴニモノラレ、逆旅ヤドへ着テモ大事ニシテクレル。  
ソシテ、行客ヤトノモタレ柱ハ、金ノ宰府サツヂヤ。衣タリ、  
食フタリノ心配ハ小兒コドモヤ老リデハ出来ヌ故、老リ子ド  
モノウシロ柱ハ家ノ主ヌシヂヤ。ソレカラ、村ヤ町内デハ  
戸長ヤ区長、郡ヤ国デハ県ノ御役所、皆ソレ／＼ニ後ロ  
ノ柱ヂヤ。日頃ハソレ程思ハネドモ、マサカノ事有ルト  
キハ、モタレ柱ガ入用ヂヤ。ソコデ平生無事ナトキ、モ  
タレ柱ヲ忘レヌガヨイゾ。筒様ニ段々柱モ有ルガ、心地  
観經ニハ、國王譬如ハハ世間一切堂殿柱ツタ為ル根本ト、人民豊  
樂王ハハ為ル根本ト、依ル王有故ニ、ト説カセラレタ。爾レバ、  
國ノ王タル君ハ、其アラユル人民ノトントノ根本、モタ  
レ柱ヂヤゾヤ。面々ニ丸ノ裸デ生レ出イデ、ギヤツト生レタ  
其日ヨリ、戸籍ニ載ラレ、一生ノ其間、行住坐臥、衣食  
住、ネルモヲキルモ國王ノ土地、衣キルモ食フモ國王ノ御  
恵ミ、我が働イテ衣キ、我が働イテ食フト思ヘド、働クモ  
トデハドコカラヂヤ。溥天ノ下王土ニ非ルハナシ。王ノ

国土ノ地ヲ步行キ、王ノ国土ノ水ヲノミ、王土ニ生ズル  
桑ヲツミ、王ノ所領ノ田ヲ耕シ、王土ニアラユル代シヨモノ  
ヲ賣買シ、王ノ許シノ金錢ヲ通用シ、且ツテモ暮テモスル  
所作ハ、國王ノ御用物ヲ扱フヨリ外ハ無イ。ソウシテ見  
リヤ、我が物トテハ一ツモ有ルマイガ。其証拠ニハ、國  
王ノ掟ヲ背ケバ、其家モ没収メツクニアヒ、其身ハ遠方ヘ流サ  
レタリ、命マデモ取レタリ、吾親子ヤ夫婦ノ親キ中迄引  
離サレタリスルデハ無イカ。ソシテ、我が所有アリテガ我物  
デ無イ計リデハ無イ、我身マデガ我ガ物デハ有ルマイガ。  
夫程ノコト故、仏教デハ常々ニ我空ト云テ、無レ我無レ我  
所ト云フ觀念ヲセヨト勸メテ有ル。夫故、今日面々ニ我  
ガ物顔、我身アリ顔デ暮シテ居レドモ、実ノ処ハ我身モ  
無ケリヤ我物モ無イ。爾ルニ、今日御互ニ我物顔、我身  
有顔デ日送りノ出来ルノハ、外ノコトデハ無イ、唯正直  
ニ王法ノ道ヲ守テ居レバコソ、ヨイ顔サセテ置テ下サ  
ル、ノヂヤ。ソシテ、大切ニ王様ヲ戴キ上テ、王ノ御  
掟ヲ慎テ守リ奉ライデ何トセフ。サア各方、我が一生涯、  
明アケテモ暮テモ須臾モ離レラヌモタレ柱ハ國王様デアラ  
フガノフ。平生無事太平ナトキハマダヨイガ、何カ國ニ

騷亂ガ起リタリ、外国カラセメカケテ来ルト云ウナコトノアルトキ、其心配事ヲ大丈夫ニ引受ルハ誰ヂヤ。恐レ多クモ、君主御一人ヂヤゾヤ。イカイコトノ櫛カキヤ板ヤ重イ棟木ヤ瓦マデ、悉ク引受ルハ大黒柱ヂヤ。ワツカナ一軒ノ家ノ主トナリテ、内ニ在テハトシヨリ達ヲ養フタリ、三人五人ノ子ドモヲハグ、ミ、衣セタリ食ハセタリノ心配、物ヲ教テソレト、ニ芸ヲツケル勅勞、中々大抵ノコトデハ無イ。又外ニ向テハ、一家親類ノ交リ、在所町内ノツキ合、禪フシカ、ヒデモ義理セニヤナラヌト云世間ノ諺モアルガ、ドレ程家ハ貧フテモ、ソレ相応ノツキ合ハセニヤナラズ、其ウエ、何ゾ家ニ不都合ガアルト、其ゴミカブリハ皆家ノ主ジヂヤ。ソコデ、妻ヤ子ドモノ身ノ上、召シ使ヒ雇人ナドノコトヨリ、火ノ用心、倉ノ戸前ノ世話マデモ、皆マシ機クバリヲ致サニヤナラヌガ亭主ノ役目。勿躰ナクモ、今日御一新ノ折柄、天子様ハ本ヨリ、天下ヲ家トシ、四海ヲ相手トナサル、故ニ、内ニ於ハ、万民ヲ我が子トナサレテ億兆保安ノ御苦勞、外ニ向テハ、広イ世界ト御ツキ合遊バサレルコト故、万国対峙ノ御心配、億兆ノ民ノ中ニハ無頼ヤシヤナ者ガタント有テ、

盜ミヲシタリ、人ヲ殺シタリ、頑固ナ者ガ多クシテ、朝旨ノ所在ヲコ、ロエ違ヘタリ、ソシナ子ドモヲ仰山ヒカエサセラレル御一人ノ親様。人ツキ合ト云者ハ、一ト通リデサエモ氣ガネノアル者ヂヤノニ、広イ世界ノ万国、氣ノシレヌヨウナ作日キタ今日ノ御交リ。ソシナ中カラ、故ラニ、国ノ光リヲ耀カシテ開國ノ祖神ヘモ忠孝ヲナサレヨウトノ思召、内ト云ヒ、外ト云ヒ、内外莫大ノ御辛勞、何シト各々、思テ見レバ、恐レ入タルコトデハ無イカ。天子様ノ御手元ニ箇様ナ重担アモノヲ持テ下サレル広大ナ御苦勞ガ有ル故ニ、今日ノ我々ハ無事息災ニ日送りシテ、酒ヤ肴ヲ前ニ置キ、云ヒタイコトハ云ヒナガラ、追付十分無為アナル御代ト、ユクサキタノモシフ待チ楽シムハ、此御時節ニ生レ合セタ大慶デハ無イカ。サア各方、目ノ前ノ楽ミハ知リヨイガ、其楽ミノコモトノ所ヘハ氣ガツキニクイデ。右ノ如ククドウ申タコトヂヤガ、何ニツケテモ、ウシロ柱ヲ忘レヌヨウ、且暮皇恩ニ打モタレ、其有ガタサヲ喜ビ楽シマル、ガ第一ヂヤゾヤ。扱又、其上モウ一ツ思案ヲシテ見レバ、此世ノコトハソレトモタレ所ガ有テ、タトヒ早フ親ニハナレタリ、老

ヨリテ子息コトモニ後アトレタリシテ難マズ義マツナ者デモ、鰥寡孤獨廢疾ノ者ヲバ恤アツレムヨウトノ官ラカカラノ御示モアルコト故、正直ニサエイタシテ居レバ、近所隣リ組ミ、親類カラデモ捨テハラカヌ。ソウシテ其極々ノ処ハ、誰ニ限ラズ皆天子様ガモタレ柱ト成テ下サル、故、御上ノ御趣意サエ真トモニ守テ居レバ、一生涯ハ、心ヒロクトシタ楽ミデヤガ、サリナガラ、人ノ身ノ上ハ、ソレドク限リノアル者デ、病イガ次第第二重フナリ、躰カラダガ段々ツメタウナリ、息イキガタエドクニ成テ、魂イガ身ノ中ヨリ出カケル時ニ成テ見リヤ、自然ニチカラナク、心細キ訳柄デヤガ、其時ノ心ココロ靈レイノモタレ柱ガモウ一ツ出来ヨウナラ、心モ形モ諸共ニ現当二世ノ楽ミガソロウゾヤ。阿弥陀如来ノコトヲバ畢竟依トモ名クル。畢竟依ト云ハ、トントノドンジリノ依リドコト云コトデヤ。此世ノコトハ、不実ナ心ヲ持サエセネバ、何処カラナリトモ助ケテクレ人ガアルガ、未來後生ノコト計バカリハ、親デモ子デモ連合ツレアイデモ、人ノ力チカラデハ及バヌコト。今日我等凡夫ノ身ガ、直々ニ往生成仏スル様ナコトハ、羅漢、菩薩ノ力チカラデモ、諸仏如来ノ力チカラデモ及バセラレヌコトデヤゾヤ。ソシテ

ラ、煩惱具足ノ身ハ、ナラドク流転生死ノ身トナルヨリ外ハ無イ。爾ル処ニ弥陀仏ノ大悲、大願業力為増上縁、ドコドクマデモ丈夫ナ柱、サア、モタレヨト誓願タテ、攝取不捨ノ利益ヲ施シ、落ツベキ衆生ヲ正定聚、死ナヌ前カラ往生一定ト御定メニ預ル。ソコデ、臨終キマ際、心サビシキ折柄ニ、地獄デ親ニ逢フタヨウナト云マデハ無イ、平生無事ナ其トキヨリ、ハヤ大丈夫ナモタレ柱ガ出来ルノデヤ。ソシテ、信心領解ノ身ハ、我力オノチカラ靈レイノ行末ハ、大悲ノ弥陀ニ打モタレ、我ガ今生ノ躰カラダノ上エハ至仁ノ天子ニ打モタレ、現当二世、両手ニ花ノ仕合せナレバ、ネテモサメテモヘダテナク、知恩報徳ノ心ニ住シ、雖一世勤苦須臾之間、今生二世ハ長イコトデハ無キ故ニ、イカホド尽力イタシテモ、アタ「ク」マデ知レタ五十年、万事マンジ太義マツニ思ハズニ、口ニ念仏、形カタチニ家業、心嬉シフ樂ミツ、皇上朝旨ヲ仰ギ上ゲ、大切二世ヲ度ルノガ何ヨリ有ガタイコト。

此頃中、長々毎夜ドク各ヨク奇特ニ參詣セラレマシタ。今夕コノキハモウ満座ニ及バガ、此ゴロウチ申シタコトヲバ、何レモヨク心ニ留メラレタカ。一々皆記ツギエテ居ニヤ成ヌ



ト云テハ無イガ、其利益ガアトニノコラニヤ所詮ガ無イ。  
夕飯ニタベタ物ガ、今夜寝テ居ル間ニ、ハヤ消エテシマ  
ヘドモ、毎日〳〵三度ガ三度、ワイシク物ガタベラルレ  
バ、イクラ消テシマフテモ、カラフ躰ハ肥ルワイノフ。糟ハ  
消テモ其精氣ガ残ルノヂヤ故、達者ニ働キガ出来ルゾヤ。  
ソコデ、聞夕程ノコトヲ一々皆ツボ記エテ、物知り顔ニナル  
コトハ入ラヌガ、其聞夕所ノ教法ノ精氣ガ身ニ留リテ、  
内外ウルハシク、達者ニ道ノ守ラレルノガ、聞夕所詮ト  
云者ヂヤ程ニ、信心領解ノ身ノ上ハ申スニ及ハズ、タト  
ヒ未決定ノ人タリトモ、真宗ノ流レヲ汲ム身ノ上ハ、此  
上エイヨ〳〵王法仁義ノ旨ヲ忘レズ、三条ノ御趣意ヲ感  
戴シテ、ウツクシク世ヲ度ラル、ガ肝要。

右ハ、吾師瑕丘老人、檀越有縁ノ人々へ説教セラレタル  
趣キ、其聞クマ、ニ筆受シ畢。

説山房夜話卷之下 終